# 新たな地域医療構想の策定について

令和８年８月　山口県医療政策課

# １　新たな地域医療構想策定ガイドラインの概要

# 地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめ（地域医療構想策定ガイドライン骨子）の概要

## 地域医療構想が目指す方向性

・85歳以上の高齢者の増加や人口減少が更に進む2040年とその先を見据え、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できるよう、住民を含め地域の関係者の理解を得ながら医療提供体制を構築する

## 入院医療

### 持続可能な急性期医療の確保

- 医療機関機能を踏まえ、急性期の医療需要や、手術や救急搬送における医療機関ごとの役割分担等について地域ごとに協議

### 高齢者救急の受入体制の整備

- 救急の実施基準において、高齢者救急の考え方を位置付け
- 入院早期からのリハビリテーション等の提供の推進

## 外来・在宅医療

### 外来医療提供体制の維持

- 診療所の減少が進む中、地域の病院を中心に提供体制を構築
- へき地や診療所の数が限られている地域等において、D to P with Nを含むオンライン診療の活用を推進

### 在宅医療の受け皿の整備

- 在宅医療、介護施設、療養病床を一体的に捉え受け皿を整備
- 医歯薬連携の推進
- D to P with Nを含むオンライン診療等による効率化や病院による実施体制の強化、介護施設などの在宅医療以外の資源により受け皿を整備

## 介護との連携

### 医療と介護のニーズを有する者への対応の推進

- 地域医療構想における市町村と介護関係者の役割を明確化
- 慢性期の医療需要について、在宅医療等とあわせた体制整備
- 医療と介護の相互理解の推進

## 人材確保

### 地域における医療人材の確保

- 都道府県単位で、大学病院本院から急性期拠点機能を中心とした、地域医療構想全体を踏まえた人的協力のあり方について協議
- 看護師等の将来の人材確保の方向性を反映

## 構想区域の見直し

医療機関の連携・再編・集約化など医療提供体制構築のための議論の単位や、必要病床数の運用が可能となる単位等を踏まえ、人口20万人以上を基本としつつ、地域の実情を踏まえ柔軟に設定

## 医療機関機能の新設

医療機関機能の確保の協議を通じて将来の提供体制の確保の取組を推進

### 急性期拠点機能

- 構想区域毎に、人口20万～30万に１つを目安に確保
- 手術等の急性期医療を集約して提供
- 新興感染症等への対応
- 地域の人口や医療需要等を踏まえた病床のダウンサイジング

### 在宅医療等連携機能

- 地域での在宅医療の提供
- 他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した 24 時間の対応や入院対応を実施

### 高齢者救急・地域急性期機能

- 誤嚥性肺炎等の高齢者救急を受入
- 高齢者を中心に入院早期からのリハビリテーションを提供
- 大都市等においては頻度の多い手術を提供

### 専門等機能

- 集中的なリハビリ、中長期にわたる入院医療、有床診療所の担う地域に根ざした診療、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を提供

### 医育及び広域診療機能（大学病院本院）

- 都道府県と連携した人的協力
- 症例数が少ない医療などの広域な観点での診療
- 地域で多様な症例に対応する人材の育成

## 病床機能報告・必要病床数の見直し

これまでの地域医療構想の取組に加え、病床機能について回復期を包括期とするとともに、必要病床数について新たな地域医療構想の取組を踏まえた推計を実施し、病床機能の分化・連携を推進

※令和８年３月19日地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめより作成

※なお、精神医療における地域医療構想のガイドラインの策定に向けて、2026年度（令和８年度）中を目途に結論を得るべく、検討を進める

# 1-2 構想区域設定

【構想区域とはどのようなものか】

〇医療法第30条の3の3第2項第２号】（R9.4.1施行）
地域における医療機関機能及び病床の機能の分化及び連携を推進するための基準として厚生労働省令で定める基準に従い定める区域（以下「構想区域」という。）
※ 厚生労働省令はR8.7.7現在改正されず

〇新構想策定ガイドラインの記載

| 構想区域の主な役割 | あるべき単位 |
|---|---|
| ①医療提供体制の構築 | ・ 急性期拠点機能の確保の観点から、当該地域で緊急手術等の需要が一定程度発生し、こうした需要に対応する体制を合理的に確保できる単位 |
| ②必要病床数の運用 | ・ 病床機能別に適切な病床数が確保できるよう調整会議や医療審議会での議論の進行や適切な法令上の権限行使を行える単位 |

【どんなデータ等を考慮して検討するか】
・ 将来人口推計、患者の流出入、医療機関の配置状況、医療従事者の確保状況、医療へのアクセス等
→ 現在及び将来の医療需要や人材確保の観点で区域として一定の医療提供の完結が可能か

# 1-3　医療機関機能の決定

〇医療機関機能の概要

・　第一義的には、医療法第30条の13に基づく医療機関機能報告上の報告事項の１つ

現在担う機能に近い医療機関機能を報告

協議において医療機関機能決定（遅くとも2028年度まで）

決定された医療機関機能を報告

・　地域医療構想では以下の内容等を定める（医療法第30条の3の3第2項第3号、第5号等）

①　構想区域における将来の医療機関機能の見通し

②　地域医療構想の達成に向けた医療機関機能の分化及び連携の推進に関する事項　等

| 地域ごとの医療機関機能 | 主な具体的な内容 |
|---|---|
| 高齢者救急・地域急性期機能 | • 高齢者をはじめとした救急搬送を受け入れるとともに、必要に応じて専門病院や施設等と協力･連携しながら、入院早期からのリハビリ･退院調整等を行い、早期の退院につなげ、退院後のリハビリ等の提供を確保する。 |
| 在宅医療等連携機能 | • 地域での在宅医療の実施、他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を行う。 |
| 急性期拠点機能 | • 地域での持続可能な医療従事者の働き方や医療の質の確保に資するよう、手術や救急医療等の医療資源を多く要する症例を集約化した医療提供を行う。 |
| 専門等機能 | • 上記の機能にあてはまらない、集中的なリハビリテーション、高齢者等の中長期にわたる入院医療機能、有床診療所の担う地域に根ざした診療機能、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を行う。 |
| **広域な観点の医療機関機能** | |
| 医育及び広域診療機能 | • 大学病院本院が担う、広域な観点で担う常勤医師や代診医の派遣、医師の卒前･卒後教育をはじめとした医療従事者の育成、広域な観点が求められる診療を総合的に担い、また、これらの機能が地域全体で確保されるよう都道府県と必要な連携を行う。 |

# 1-4　急性期拠点機能を担う医療機関の決定

【急性期拠点機能は具体的にどのような役割を担うか】
○　救急医療や手術等の医療資源を多く要する医療を、地域の実情に応じ総合的に提供
○　具体的には、消化器外科、整形外科、循環器内科、脳神経外科等を中心に、高頻度、救急対応や手術・処置等を要する疾患に対応

【急性期拠点機能を担う医療機関の決定にはどんなデータ等を考慮するか】
○　救急医療に係る診療実績
・　全身麻酔手術件数、緊急手術件数（必要に応じて診療科別件数等）
・　救急搬送受入件数（必要に応じて年齢区分別件数、経路区分別件数）　等
○　医師をはじめとする医療従事者の確保の見込み
○　医療機器の整備状況等の施設の整備状況
○　建物の築年数、各種補助金や繰入金の活用状況
○　医療機関へのアクセス　等

# 1-5　必要病床数の算出

○　病床機能の概要

・　第一義的には、医療法第30条の13に基づく病床機能報告上の報告事項の１つ
（病床機能の区分を定める医療法施行規則はR8.7.10現在、未改正）

・　地域医療構想では以下の内容等を定める（医療法第30条の3の3第2項）
①　構想区域における病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量
②　地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項　等

**病床機能区分**　（GL26ページ、参考：医療法施行規則第30条の33の2の5各号）

| | 機能の内容 |
|---|---|
| 高度急性期機能 | • 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 |
| 急性期機能 | • 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能 |
| 包括期機能 | • 高齢者等の急性期患者について、治療と入院早期からのリハビリ等を行い、早期の在宅復帰を目的とした治し支える医療を提供する機能<br>• 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能<br>• 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頚部骨折等の患者に対し、ＡＤＬの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能） |
| 慢性期機能 | • 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能<br>• 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む。）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能 |

・　算出に用いる式は医療法施行規則で規定される（現行規定上、“Σ…”といった詳細なもの）
・　GL上で示された式のイメージは以下のとおり

必要病床数　＝　［当該構想区域に所在する医療機関に入院する患者の 2040 年の性・年齢階級別の入院受療率　×　当該構想区域の 2040 年の性・年齢階級別推計人口］の総和を（病床稼働率）で除したもの

## ２　本県における検討のあり方のご提案

- ○　令和８年度に優先的に検討すべき事項
- ○　策定ロードマップ
- ○　検討体制・検討サイクル
- ○　構想区域の検討
- ○　急性期拠点機能を担う医療機関の決定

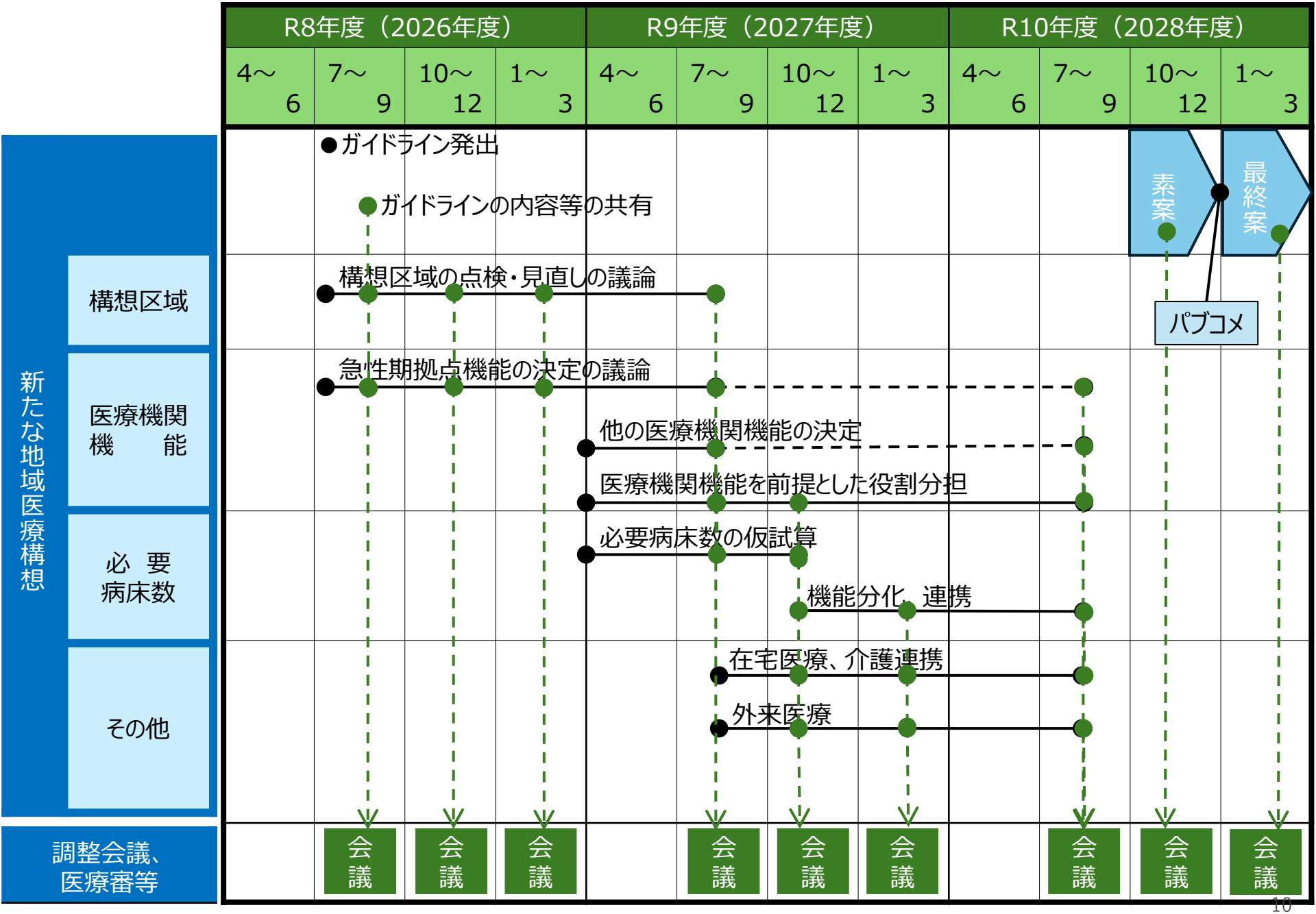
# 2-1　令和８年度において優先的に検討すべき事項は、以下のとおりとしてはどうか

〇考え方（ガイドラインに基づくもの）
- 構想区域は、医療提供体制の構築や必要病床数の運用、種々の取組の基本的単位
- 構想区域の設定は、特に急性期拠点機能の確保の観点から検討されるべきもの

「構想区域の設定」と「急性期拠点機能を担う医療機関の決定」を優先的な検討事項としてはどうか

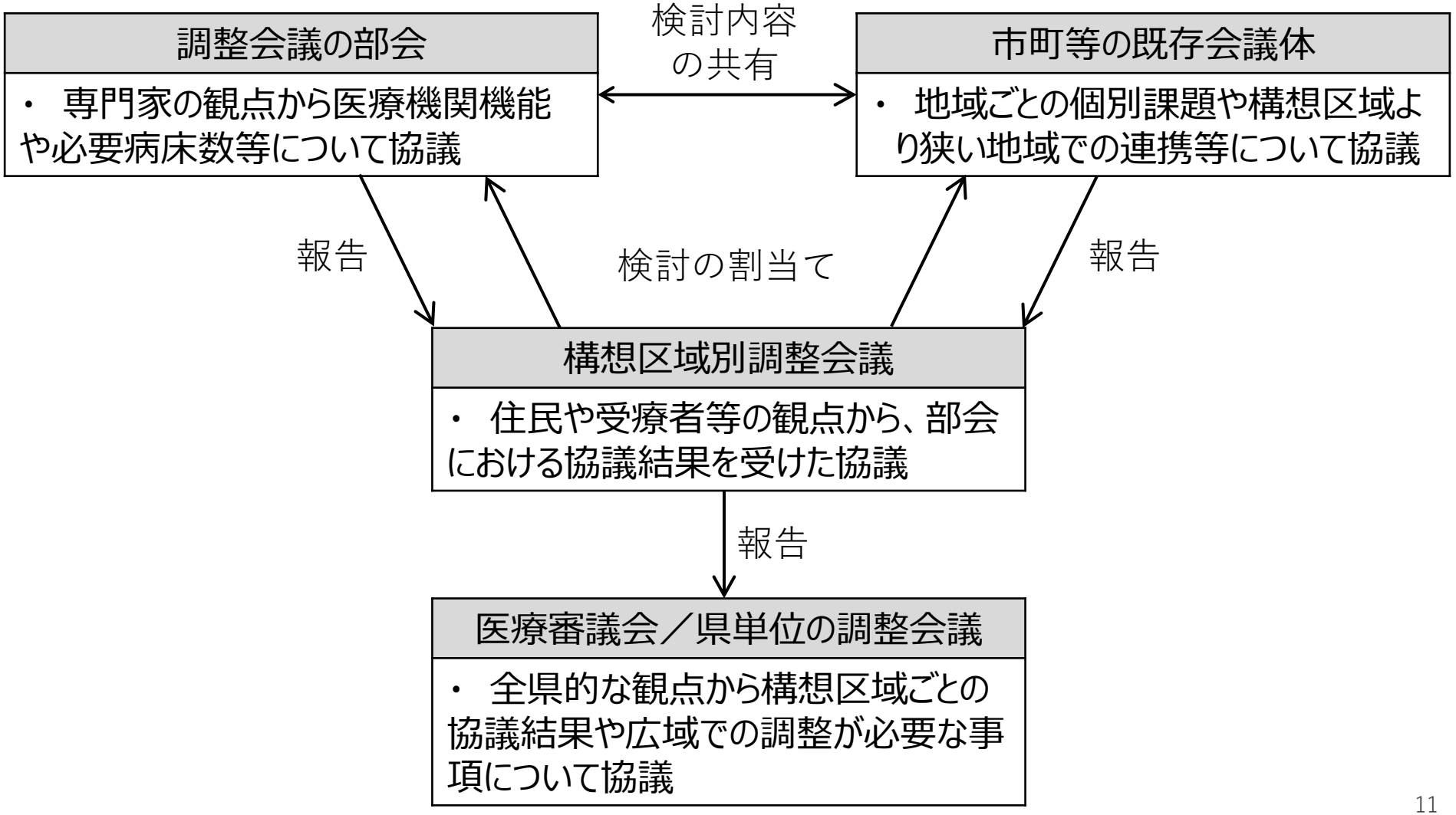
※　ただし、検討の過程では、他の医療機関機能や急性期以外のニーズも必要に応じ考慮
　∵　現有の医療資源やニーズの状況、見込みにより、各構想区域の急性期拠点機能と他の医療機関機能の医療機関の役割分担は変わりうるため

# 2-2 策定ロードマップ 2028年度末までの策定期間を以下のとおり割り振ってはどうか

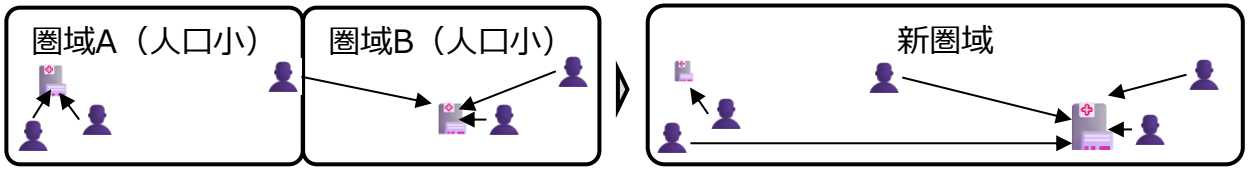


# 2-3 検討体制・サイクルは以下のとおりとしてはどうか

- 議題や検討段階に応じ、部会等、適切な会議体で、専門的かつ十分な検討を確保
- 構想区域別の調整会議の議論で様々な主体による検討を確保
- 全県単位の会議の議論で県全体で整合的な検討を確保



# 2-4　構想区域の検討は以下のとおりとしてはどうか

| 検討プロセス | 検討内容のイメージ |
| --- | --- |
| ○客観的データの分析<br>医療提供の状況 | ・現在人口及び人口推計から医療ニーズの総量の状況<br>・他の構想区域に流出が多く、圏域内完結度の状況<br>・GLに形式的に合わせた現行構想区域の状況 |
| ○構想区域の案提示 |  |
| 効果はどうか<br>デメリットが看過できず、メリットが小さい　等 | 一部の患者のアクセスの状況<br>人口規模の状況<br>資源集約で対応すべき将来の急性期ニーズ<br>細かな区域の状況 |
| 許容可能か<br>構想区域間の連携による医療提供等 | 他の構想区域との連携が、十分に機能しているか<br>慢性期ニーズ（在宅含む）が一定以上見込まれるか |
| 新たな構想区域の決定 | |

# 2-5　急性期拠点機能を担う医療機関の決定手法は以下のとおりとしてはどうか

人口推計から、急性期のニーズの量はどのくらいで、どんな種類か

全身麻酔の手術件数はどこが多いか
医療従事者はどこが多いか　等

実績等が拮抗している医療機関で、どこが担う意思を持っているか

構想区域の医療需要分析

各医療機関の実績等分析

各医療機関の希望状況を調査

国ツール＋既存データ

県実施の希望調査 資料６－２

医療機関機能報告

候補のしぼりこみ

地域の協議で
**１つに決定**

主にR8年度

主にR9年度

- ○　当該急性期拠点機能の医療機関に何をどの程度集約するか
- ○　他圏域の急性期拠点機能の医療機関との連携
- ○　高齢者救急・地域急性期機能の医療機関との役割分担をどうするか
- ○　救急搬送の実施基準をどうするか

## 3　関係データのイメージ

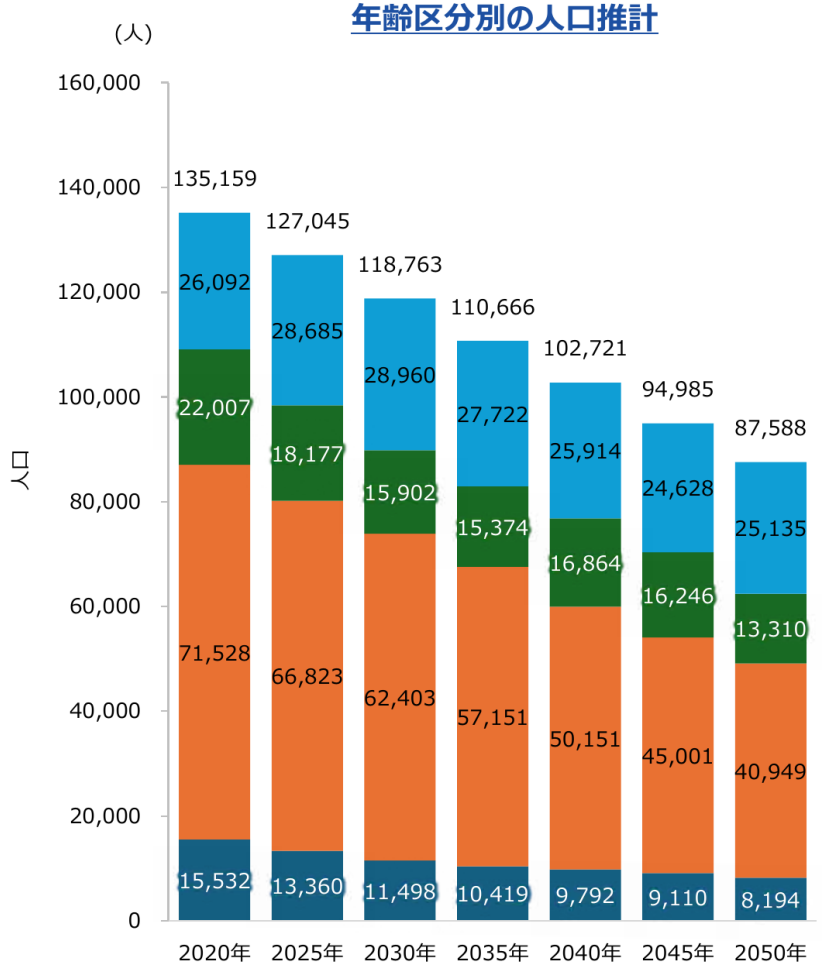
※　正式なデータ分析は国の推計ツール等を使用して別途行います

※　データの項目は議題の内容や検討状況により、随時、追加いたします

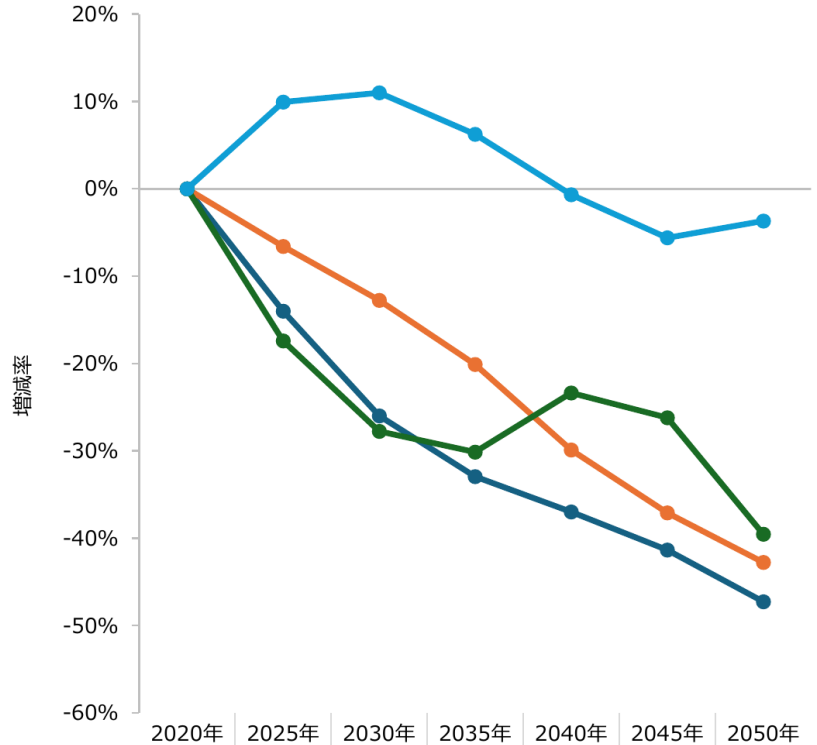
○　将来人口推計
○　患者の流出入
○　医療機関の配置状況
○　医療従事者の確保状況
○　医療（病院）へのアクセス
○　急性期拠点機能の関連データ

# 岩国医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -14.0% | -26.0% | -32.9% | -37.0% | -41.3% | -47.2% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -6.6% | -12.8% | -20.1% | -29.9% | -37.1% | -42.8% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -17.4% | -27.7% | -30.1% | -23.4% | -26.2% | -39.5% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 9.9% | 11.0% | 6.2% | -0.7% | -5.6% | -3.1 |

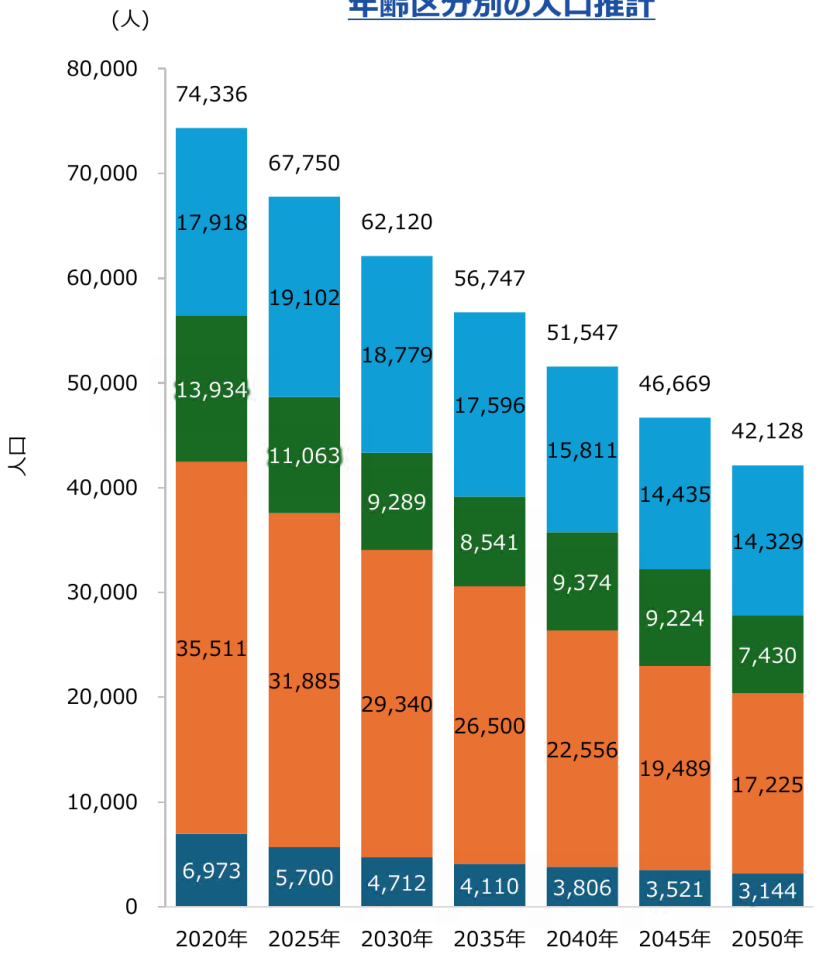
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

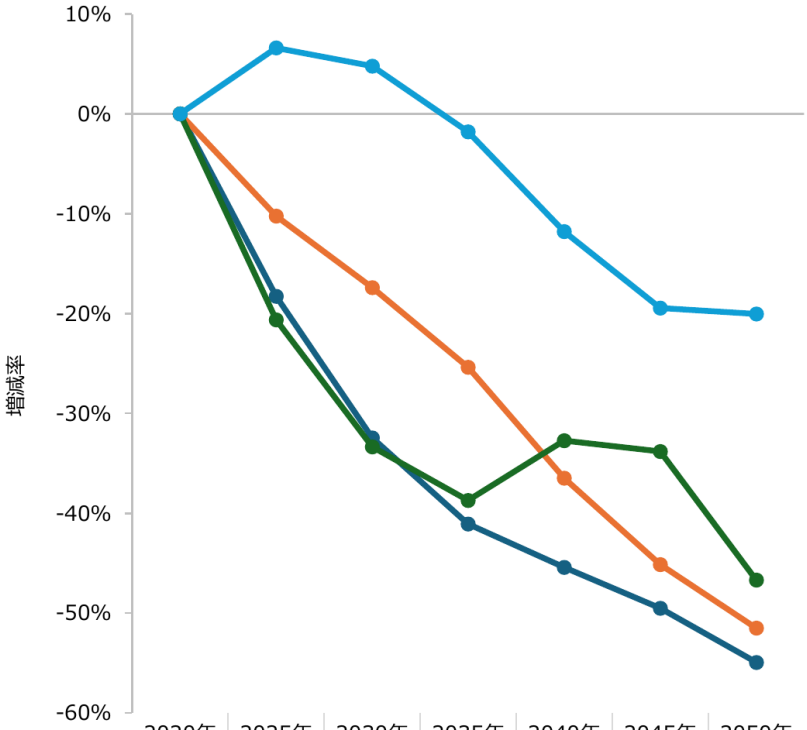
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 柳井医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -18.3% | -32.4% | -41.1% | -45.4% | -49.5% | -54.9% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -10.2% | -17.4% | -25.4% | -36.5% | -45.1% | -51.5% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -20.6% | -33.3% | -38.7% | -32.7% | -33.8% | -46.7% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 6.6% | 4.8% | -1.8% | -11.8% | -19.4% | -20.0% |

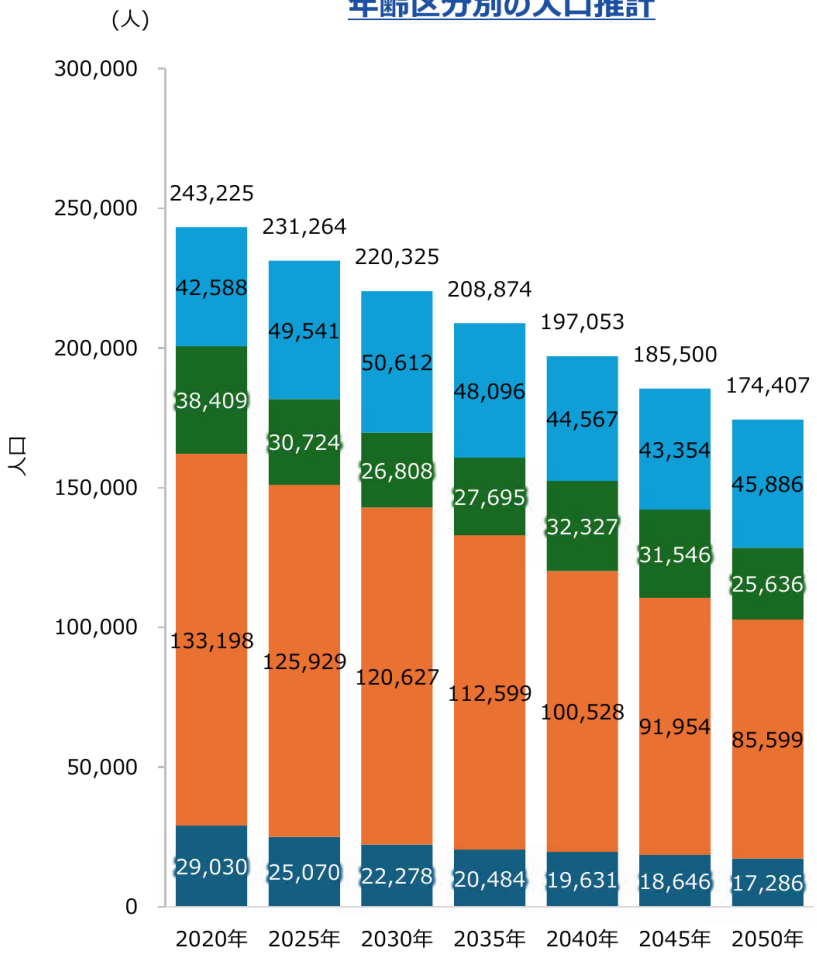
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

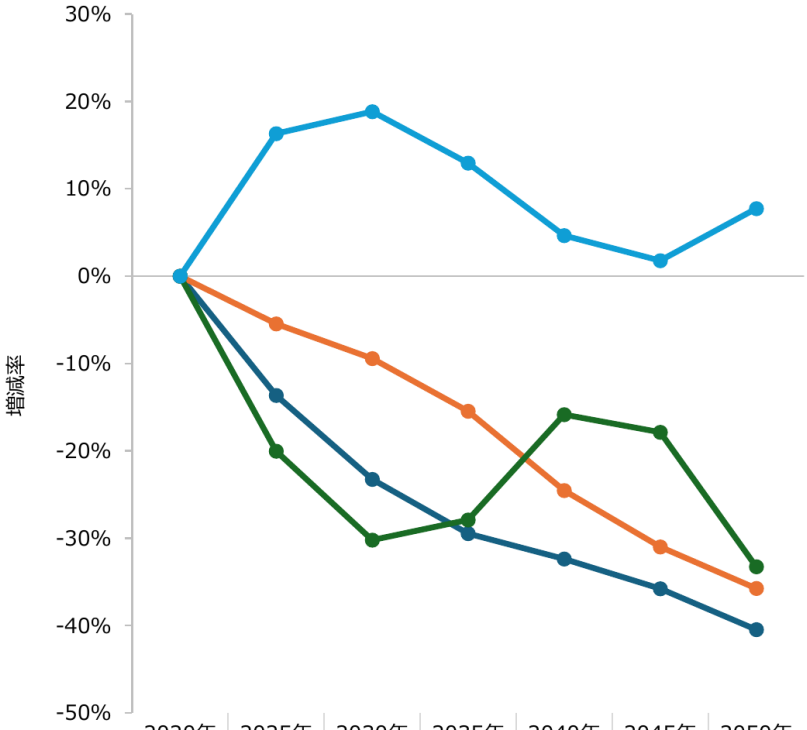
# 周南医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

## 年齢区分別の人口増減率



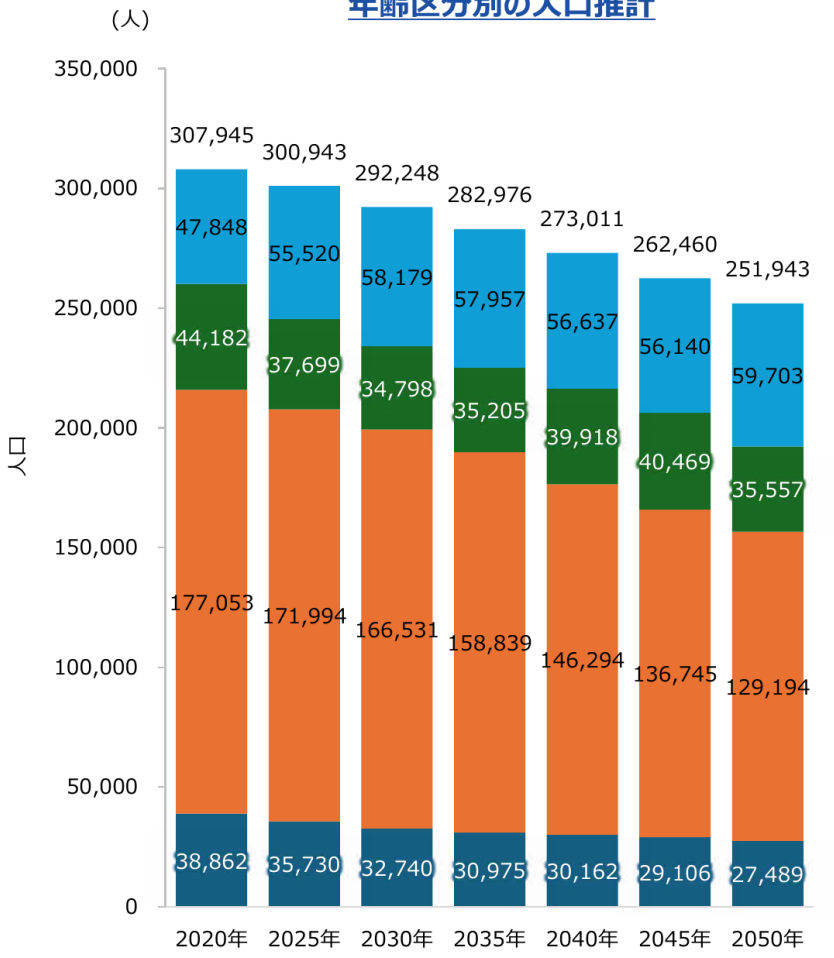

| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -13.6% | -23.3% | -29.4% | -32.4% | -35.8% | -40.5% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -5.5% | -9.4% | -15.5% | -24.5% | -31.0% | -35.7% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -20.0% | -30.2% | -27.9% | -15.8% | -17.9% | -33.3% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 16.3% | 18.8% | 12.9% | 4.6% | 1.8% | 7.7% |

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

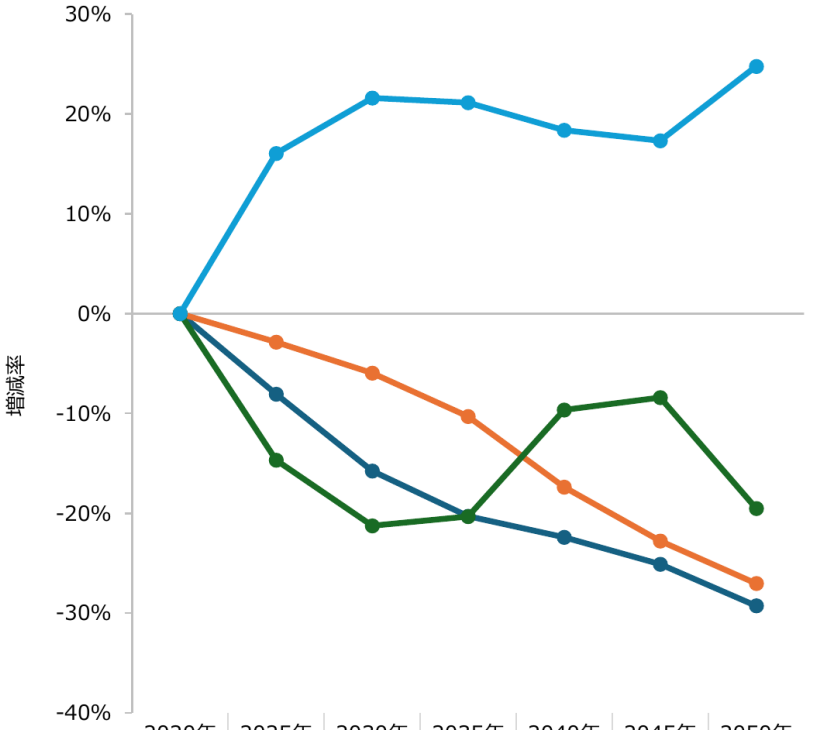
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 山口・防府医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -8.1% | -15.8% | -20.3% | -22.4% | -25.1% | -29.3% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -2.9% | -5.9% | -10.3% | -17.4% | -22.8% | -27.0% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -14.7% | -21.2% | -20.3% | -9.7% | -8.4% | -19.5% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 16.0% | 21.6% | 21.1% | 18.4% | 17.3% | 24.8% |

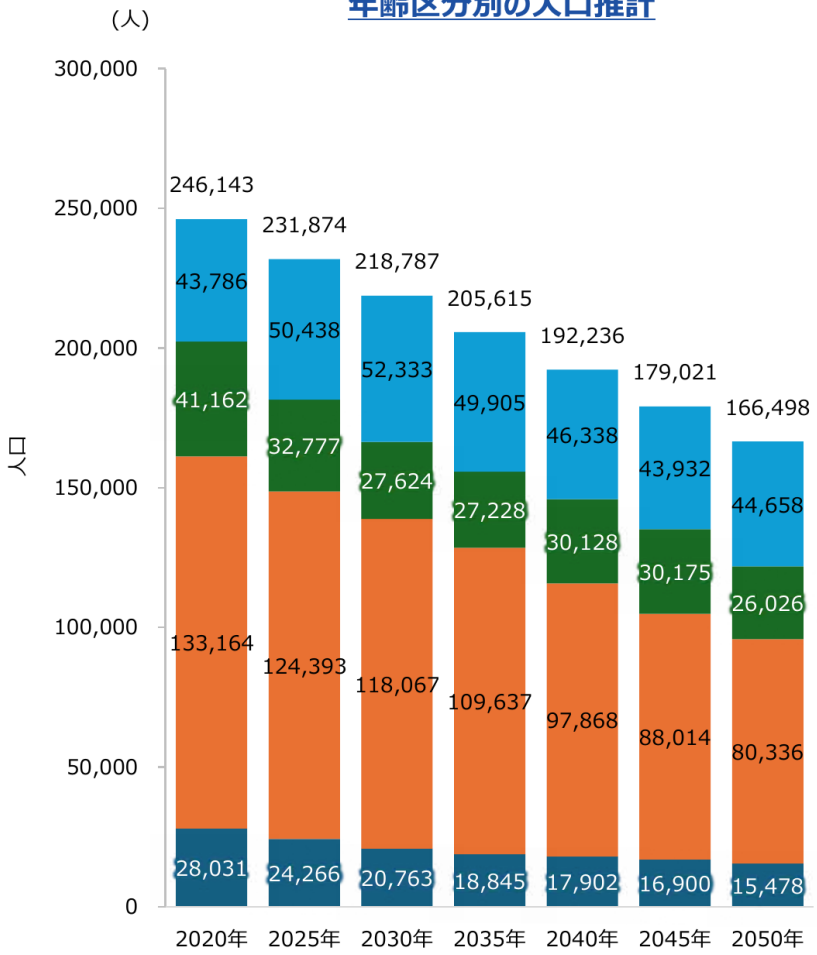
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

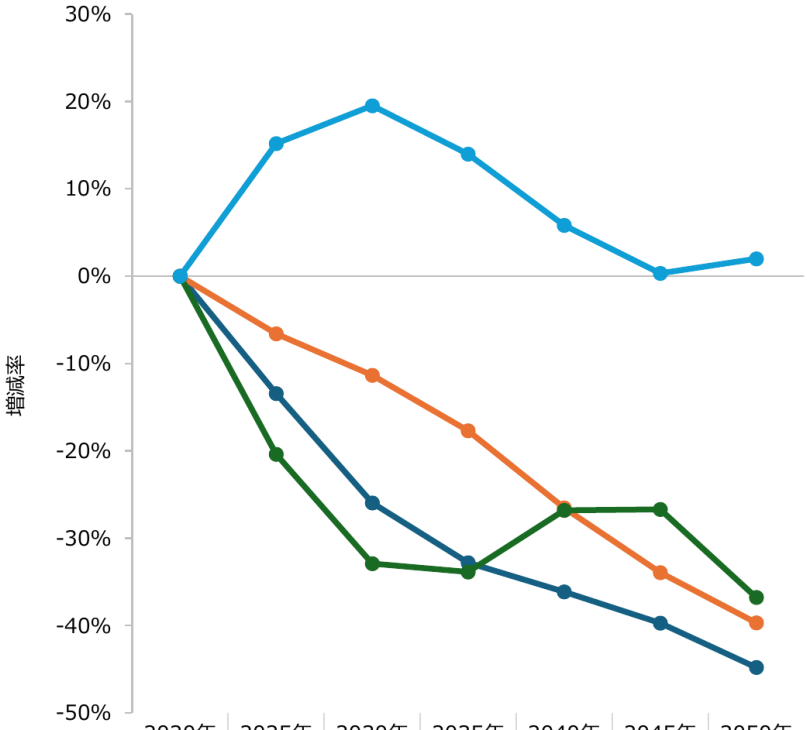
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 宇部・小野田医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -13.4% | -25.9% | -32.8% | -36.1% | -39.7% | -44.8% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -6.6% | -11.3% | -17.7% | -26.5% | -33.9% | -39.7% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -20.4% | -32.9% | -33.9% | -26.8% | -26.7% | -36.8% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 15.2% | 19.5% | 14.0% | 5.8% | 0.3% | 2.0% |

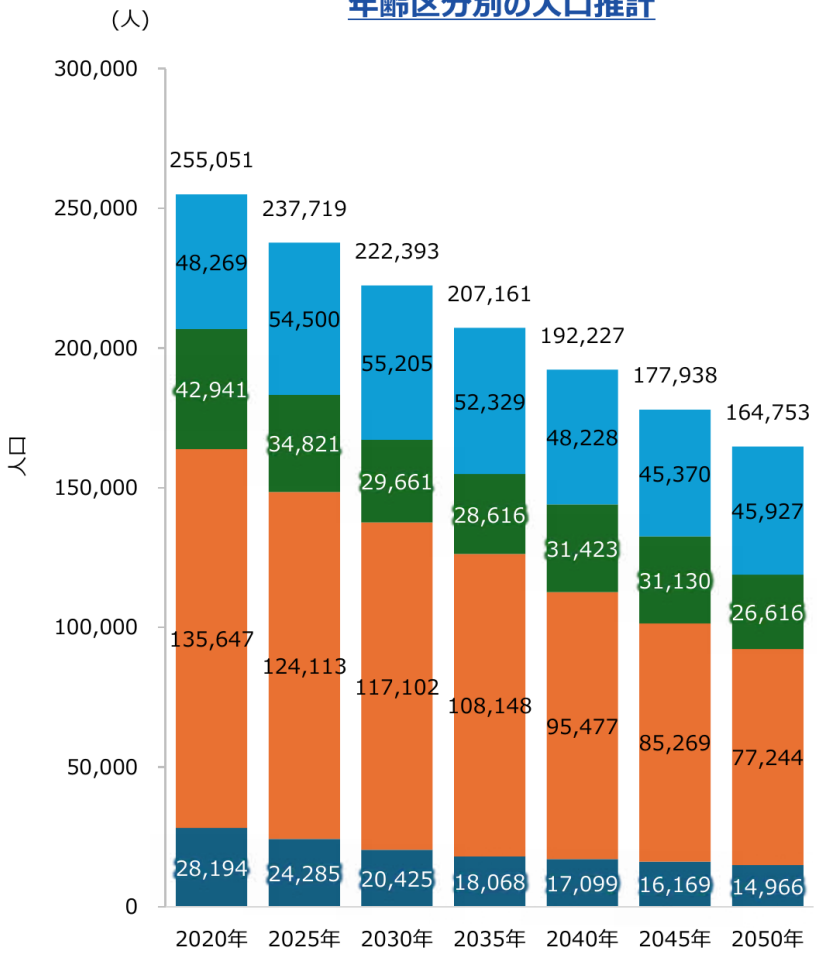
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

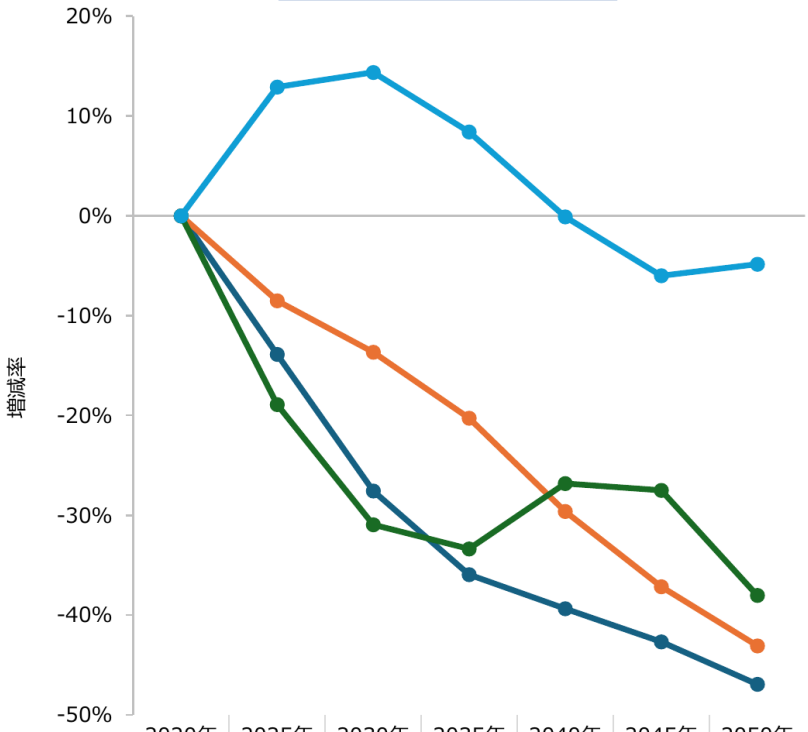
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 下関医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -13.9% | -27.6% | -35.9% | -39.4% | -42.7% | -46.9% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -8.5% | -13.7% | -20.3% | -29.6% | -37.1% | -43.1% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -18.9% | -30.9% | -33.4% | -26.8% | -27.5% | -38.0% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 12.9% | 14.4% | 8.4% | -0.1% | -6.0% | -4.9% |

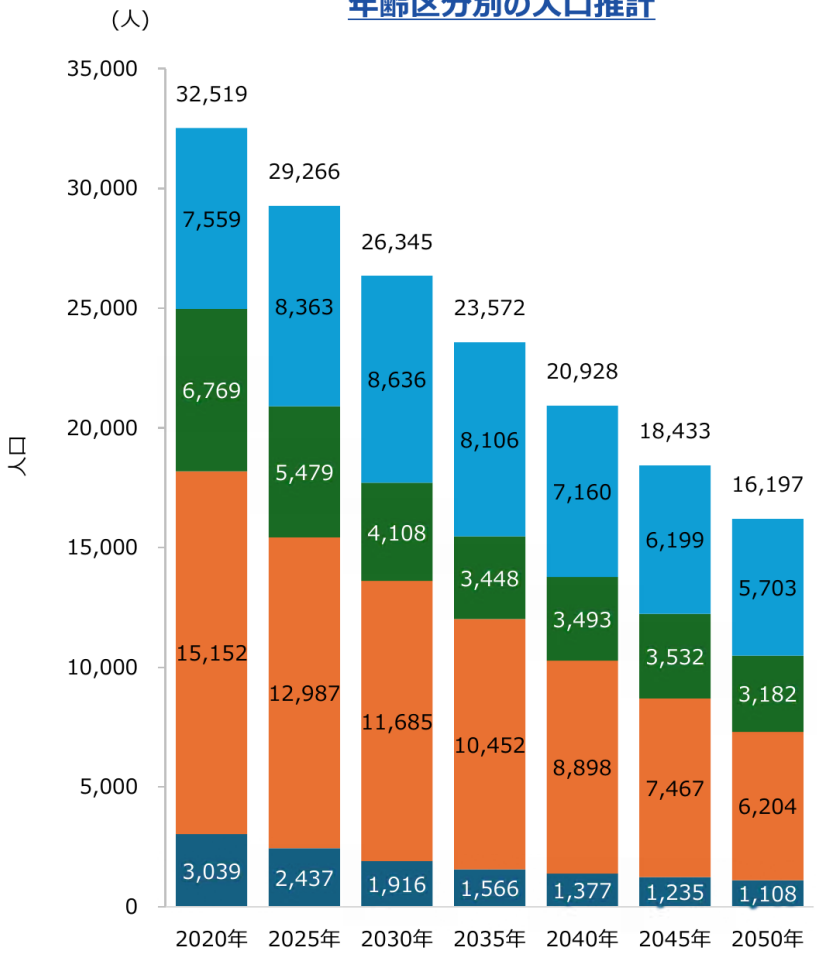
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

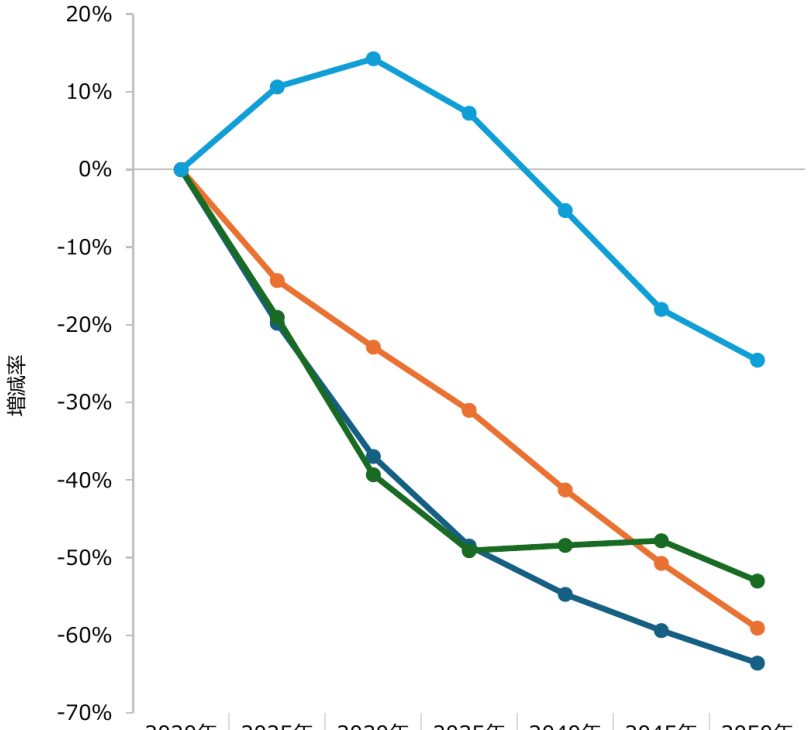
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 長門医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -19.8% | -37.0% | -48.5% | -54.7% | -59.4% | -63.5% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -14.3% | -22.9% | -31.0% | -41.3% | -50.7% | -59.1% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -19.1% | -39.3% | -49.1% | -48.4% | -47.8% | -53.0% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 10.6% | 14.2% | 7.2% | -5.3% | -18.0% | -24.6% |

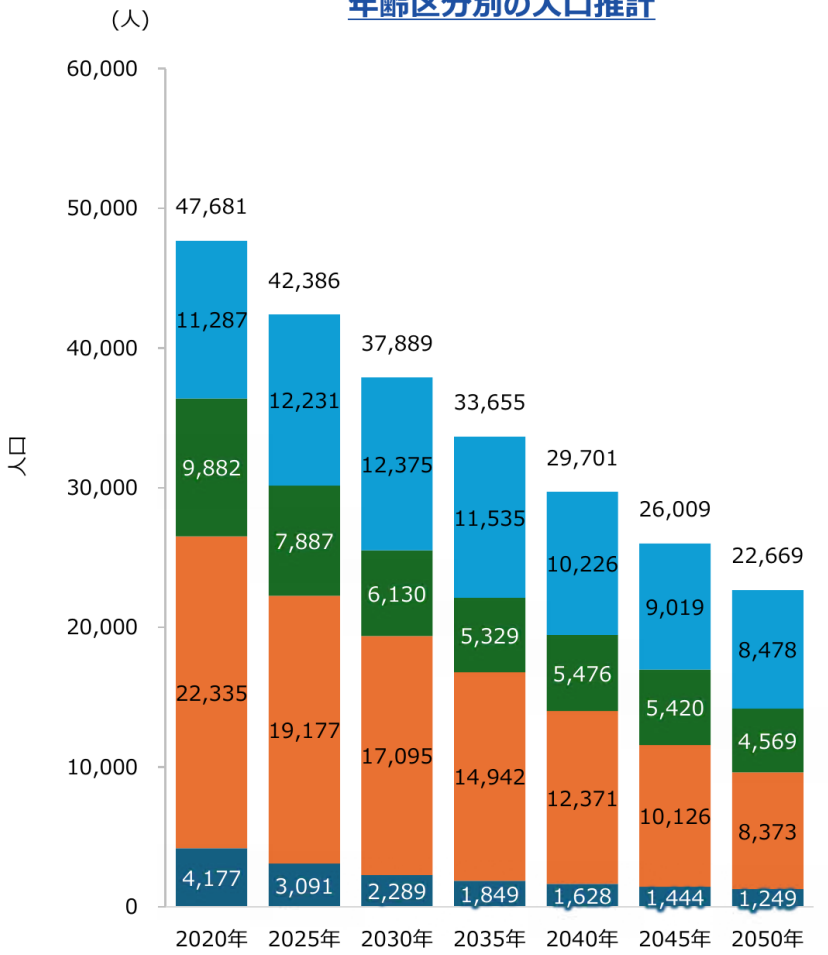
出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

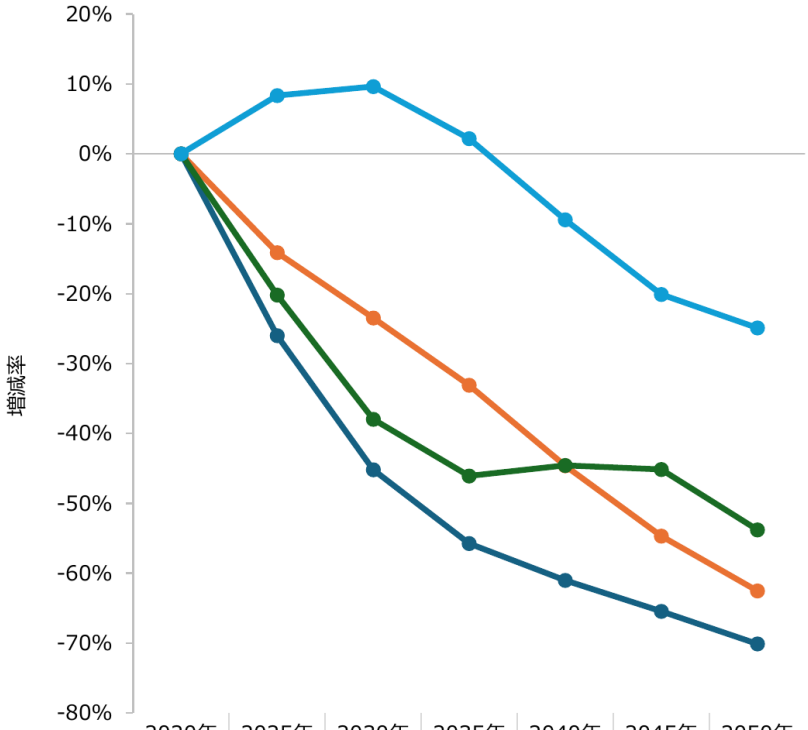
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 萩医療圏｜人口推計

## 年齢区分別の人口推計




## 年齢区分別の人口増減率




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年少人口 | 0.0% | -26.0% | -45.2% | -55.7% | -61.0% | -65.4% | -70.1% |
| 生産年齢人口 | 0.0% | -14.1% | -23.5% | -33.1% | -44.6% | -54.7% | -62.5% |
| 前期高齢者 | 0.0% | -20.2% | -38.0% | -46.1% | -44.6% | -45.2% | -53.8% |
| 後期高齢者 | 0.0% | 8.4% | 9.6% | 2.2% | -9.4% | -20.1% | -24.9% |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 患者の流出入

## 県単位での流出入の状況

【流出】
患者住所が山口県の19.6千人をどの県の施設が受け入れたか

| | |
|---|---|
| 山口県 | 18.8千人 |
| 広島県 | 0.5千人 |
| 福岡県 | 0.2千人 |

【流入】
山口県の施設が受け入れた19.2千人の患者住所はどこか

| | |
|---|---|
| 山口県 | 18.8千人 |
| 島根県 | 0.1千人 |
| 広島県 | 0.1千人 |
| 福岡県 | 0.1千人 |

※　いずれの表も、数値が端数処理により「０」のものは省略

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）

# 岩国圏域の流出入の状況　（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】患者住所が岩国圏域の1.8千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 1.3千人 |
| | 柳井 | 0.2千人 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | - |
| | 長門 | - |
| | 萩 | - |
| 広島県 | 広島 | 0.1千人 |
| | 広島西 | 0.2千人 |

【流入】岩国医療圏の施設が受け入れた1.5千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 1.3千人 |
| | 柳井 | 0.1千人 |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | - |
| | 下関 | - |
| | 長門 | - |
| | 萩 | - |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ　感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ　新生物 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| Ⅲ　血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ　内分泌 | 0 | 0.1 | ▲0.1 |
| Ⅴ　精神 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| Ⅵ　神経系 | 0.2 | 0.3 | ▲0.1 |
| Ⅶ　眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ　耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ　循環器 | 0.2 | 0.3 | ▲0.1 |
| Ⅹ　呼吸器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅠ　消化器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅡ　皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ　筋骨格 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅣ　腎尿路 | 0 | 0.1 | ▲0.1 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ　周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ　先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅩⅠ　保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **1.4** | **1.8** | **▲0.4** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 柳井圏域の流出入の状況　（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が柳井圏域の1.3千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0.1千人 |
| | 柳井 | 1.0千人 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | - |
| | 長門 | - |
| | 萩 | - |
| 広島県 | | 0.1千人 |

【流入】 柳井医療圏の施設が受け入れた1.4千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0.2千人 |
| | 柳井 | 1.0千人 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | - |
| | 萩 | 0 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ　感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ　新生物 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅲ　血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ　内分泌 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅴ　精神 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| Ⅵ　神経系 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| Ⅶ　眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ　耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ　循環器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅹ　呼吸器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅠ　消化器 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅡ　皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ　筋骨格 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅣ　腎尿路 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ　周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ　先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅩⅠ　保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **1.1** | **1.0** | **0.1** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 周南圏域の流出入の状況　（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が周南圏域の3.0千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0 |
| | 柳井 | 0.1千人 |
| | 周南 | 2.6千人 |
| | 山口・防府 | 0.1千人 |
| | 宇部・小野田 | 0.1千人 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | - |
| | 萩 | - |

【流入】 周南医療圏の施設が受け入れた3.0千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0.1千人 |
| | 柳井 | 0.1千人 |
| | 周南 | 2.6千人 |
| | 山口・防府 | 0.1千人 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | - |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ　感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ　新生物 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| Ⅲ　血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ　内分泌 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅴ　精神 | 0.5 | 0.5 | 0 |
| Ⅵ　神経系 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| Ⅶ　眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ　耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ　循環器 | 0.5 | 0.5 | 0 |
| Ⅹ　呼吸器 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅠ　消化器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅡ　皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ　筋骨格 | 0.1 | 0.2 | ▲0.1 |
| ⅩⅣ　腎尿路 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| ⅩⅥ　周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ　先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| ⅩⅩⅠ　保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **2.8** | **2.8** | **0** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 山口・防府圏域の流出入の状況　（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が山口・防府圏域の3.6千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0 |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 3.0千人 |
| | 宇部・小野田 | 0.3千人 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | - |
| | 萩 | 0 |

【流入】 山口・防府医療圏の施設が受け入れた3.6千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0 |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 3.0千人 |
| | 宇部・小野田 | 0.2千人 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0.1 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ　感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ　新生物 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| Ⅲ　血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ　内分泌 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅴ　精神 | 0.7 | 0.7 | 0 |
| Ⅵ　神経系 | 0.4 | 0.5 | ▲0.1 |
| Ⅶ　眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ　耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ　循環器 | 0.5 | 0.5 | 0 |
| Ⅹ　呼吸器 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| ⅩⅠ　消化器 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅡ　皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ　筋骨格 | 0.3 | 0.2 | 0.1 |
| ⅩⅣ　腎尿路 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ　周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ　先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| ⅩⅩⅠ　保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **3.3** | **3.3** | **0** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 宇部・小野田圏域の流出入の状況　（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が宇部・小野田圏域の4.1千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0.2千人 |
| | 宇部・小野田 | 3.8千人 |
| | 下関 | 0.1千人 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0 |

【流入】 宇部・小野田医療圏の施設が受け入れた4.4千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | 0 |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | 0.1千人 |
| | 山口・防府 | 0.3千人 |
| | 宇部・小野田 | 3.8千人 |
| | 下関 | 0.1千人 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0.1千人 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ　感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ　新生物 | 0.5 | 0.4 | 0.1 |
| Ⅲ　血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ　内分泌 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅴ　精神 | 0.8 | 0.7 | 0.1 |
| Ⅵ　神経系 | 0.7 | 0.5 | 0.2 |
| Ⅶ　眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ　耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ　循環器 | 0.7 | 0.7 | 0 |
| Ⅹ　呼吸器 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| ⅩⅠ　消化器 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅡ　皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ　筋骨格 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅣ　腎尿路 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ　周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ　先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| ⅩⅩⅠ　保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| 総数 | **4.3** | **3.9** | **0.4** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 下関圏域の流出入の状況

（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が下関圏域の4.0千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | - |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0.1千人 |
| | 下関 | 3.7千人 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0 |
| 福岡県 | 北九州 | 0.1千人 |

【流入】 下関医療圏の施設が受け入れた3.9千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | - |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0.1千人 |
| | 下関 | 3.7千人 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ 感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ 新生物 | 0.4 | 0.4 | 0 |
| Ⅲ 血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ 内分泌 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅴ 精神 | 0.8 | 0.8 | 0 |
| Ⅵ 神経系 | 0.6 | 0.6 | 0 |
| Ⅶ 眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ 耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ 循環器 | 0.6 | 0.6 | 0 |
| Ⅹ 呼吸器 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅠ 消化器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅡ 皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ 筋骨格 | 0.3 | 0.3 | 0 |
| ⅩⅣ 腎尿路 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| ⅩⅤ 妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ 周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ 先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ 症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ 損傷，中毒 | 0.3 | 0.4 | ▲0.1 |
| ⅩⅩⅠ 保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ 特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **3.6** | **3.7** | **▲0.1** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 長門圏域の流出入の状況

（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が長門圏域の0.7千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | - |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | 0.6千人 |
| | 萩 | 0 |

【流入】 長門医療圏の施設が受け入れた0.7千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | - |
| | 周南 | - |
| | 山口・防府 | - |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | 0.6千人 |
| | 萩 | 0.1千人 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ 感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ 新生物 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅲ 血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ 内分泌 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅴ 精神 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅵ 神経系 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| Ⅶ 眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ 耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ 循環器 | 0 | 0.1 | ▲0.1 |
| Ⅹ 呼吸器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅠ 消化器 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅡ 皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ 筋骨格 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅣ 腎尿路 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅤ 妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ 周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ 先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ 症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ 損傷，中毒 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅩⅠ 保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ 特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **0.7** | **0.8** | **▲0.1** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 萩圏域の流出入の状況

（数値が端数処理により「０」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が萩圏域の1.0千人をどの医療圏の施設が受け入れたか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | 0 |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0.1千人 |
| | 宇部・小野田 | 0.1千人 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | 0.1千人 |
| | 萩 | 0.7千人 |

【流入】 萩医療圏の施設が受け入れた0.8千人の患者住所はどこか

| | | |
|---|---|---|
| 山口県 | 岩国 | - |
| | 柳井 | - |
| | 周南 | 0 |
| | 山口・防府 | 0 |
| | 宇部・小野田 | 0 |
| | 下関 | 0 |
| | 長門 | 0 |
| | 萩 | 0.7千人 |

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

| 傷病分類 | 入院患者数(単位：千人/日) | | 流出入 |
|---|---|---|---|
| | 施設所在地 | 患者住所地 | |
| Ⅰ 感染症 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ 新生物 | 0 | 0.1 | ▲0.1 |
| Ⅲ 血液 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳ 内分泌 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| Ⅴ 精神 | 0.1 | 0.2 | ▲0.1 |
| Ⅵ 神経系 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| Ⅶ 眼 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅷ 耳 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅸ 循環器 | 0.2 | 0.2 | 0 |
| Ⅹ 呼吸器 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅠ 消化器 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅡ 皮膚 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅢ 筋骨格 | 0 | 0.1 | ▲0.1 |
| ⅩⅣ 腎尿路 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| ⅩⅤ 妊娠，分娩 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅥ 周産期 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅦ 先天奇形 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ 症状，徴候 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅨ 損傷，中毒 | 0.1 | 0.1 | 0 |
| ⅩⅩⅠ 保健サービス | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅩⅡ 特殊目的用 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | **0.8** | **0.9** | **▲0.1** |

出典元：令和５年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 岩国医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 19 | 20 | 20 | 20 | 19 | 17 | 17 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 194 | 194 | 189 | 181 | 173 | 163 | 156 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 9 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 63 | 65 | 65 | 66 | 63 | 59 | 57 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 399 | 383 | 369 | 351 | 332 | 310 | 288 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 293 | 299 | 298 | 299 | 286 | 269 | 257 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 9 | 9 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 308 | 317 | 319 | 324 | 313 | 294 | 280 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 143 | 150 | 153 | 159 | 155 | 145 | 138 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 85 | 85 | 84 | 84 | 80 | 75 | 71 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 23 | 23 | 24 | 24 | 22 | 21 | 20 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 125 | 127 | 127 | 127 | 121 | 114 | 109 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 97 | 99 | 100 | 100 | 96 | 90 | 86 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 13 | 12 | 11 | 10 | 10 | 9 | 7 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 10 | 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 5 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 29 | 30 | 30 | 31 | 30 | 28 | 26 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 229 | 234 | 235 | 240 | 231 | 216 | 205 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 23 | 24 | 24 | 25 | 25 | 23 | 22 |
| 総数 | 2,083 | 2,101 | 2,087 | 2,078 | 1,992 | 1,867 | 1,771 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 柳井医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 10 | 9 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 124 | 120 | 115 | 107 | 100 | 92 | 86 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 42 | 42 | 41 | 41 | 38 | 35 | 32 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 244 | 227 | 214 | 200 | 185 | 168 | 152 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 193 | 190 | 186 | 184 | 171 | 155 | 144 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 206 | 205 | 202 | 203 | 189 | 173 | 159 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 97 | 97 | 98 | 100 | 94 | 86 | 79 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 54 | 53 | 51 | 50 | 47 | 43 | 39 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 15 | 15 | 15 | 15 | 13 | 12 | 11 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 82 | 81 | 79 | 78 | 72 | 66 | 61 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 64 | 63 | 62 | 62 | 58 | 52 | 48 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 6 | 5 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 19 | 19 | 19 | 19 | 18 | 16 | 15 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 152 | 150 | 148 | 149 | 139 | 126 | 116 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 16 | 15 | 16 | 16 | 15 | 14 | 13 |
| 総数 | 1,351 | 1,318 | 1,285 | 1,260 | 1,173 | 1,069 | 982 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 周南医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 31 | 33 | 34 | 35 | 33 | 31 | 31 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 330 | 337 | 333 | 322 | 310 | 299 | 293 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 17 | 18 | 18 | 19 | 19 | 18 | 17 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 101 | 108 | 113 | 116 | 113 | 106 | 103 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 689 | 674 | 662 | 642 | 617 | 586 | 553 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 477 | 505 | 523 | 532 | 511 | 483 | 469 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 19 | 20 | 19 | 18 | 17 | 17 | 17 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 493 | 528 | 555 | 575 | 555 | 523 | 506 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 226 | 246 | 265 | 280 | 271 | 253 | 246 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 140 | 145 | 148 | 150 | 144 | 136 | 131 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 37 | 40 | 41 | 42 | 40 | 38 | 37 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 204 | 216 | 223 | 226 | 217 | 204 | 198 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 157 | 167 | 174 | 178 | 171 | 161 | 157 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 24 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 15 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 20 | 16 | 15 | 15 | 14 | 13 | 12 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 45 | 49 | 52 | 54 | 52 | 49 | 48 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 365 | 391 | 412 | 430 | 413 | 387 | 372 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 35 | 39 | 42 | 45 | 44 | 41 | 39 |
| 総数 | 3,428 | 3,571 | 3,669 | 3,714 | 3,575 | 3,377 | 3,257 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 山口・防府医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 37 | 39 | 41 | 42 | 42 | 41 | 41 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 382 | 397 | 402 | 401 | 399 | 393 | 392 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 20 | 21 | 22 | 24 | 24 | 23 | 23 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 119 | 127 | 132 | 140 | 141 | 138 | 138 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 820 | 818 | 820 | 814 | 802 | 780 | 752 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 567 | 601 | 621 | 648 | 648 | 633 | 631 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 22 | 23 | 23 | 23 | 22 | 22 | 22 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 5 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 6 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 584 | 623 | 650 | 692 | 696 | 681 | 678 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 270 | 291 | 307 | 335 | 339 | 330 | 330 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 167 | 174 | 178 | 185 | 184 | 179 | 177 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 43 | 47 | 49 | 51 | 51 | 49 | 49 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 241 | 255 | 264 | 275 | 275 | 268 | 267 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 186 | 198 | 206 | 216 | 216 | 211 | 211 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 35 | 33 | 32 | 30 | 29 | 28 | 25 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 26 | 24 | 23 | 22 | 22 | 20 | 19 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 11 | 10 | 10 | 9 | 9 | 8 | 8 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 54 | 58 | 61 | 65 | 65 | 64 | 64 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 441 | 468 | 488 | 520 | 522 | 508 | 503 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 8 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 42 | 45 | 48 | 53 | 54 | 53 | 53 |
| 総数 | 4,079 | 4,266 | 4,390 | 4,558 | 4,552 | 4,444 | 4,394 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 宇部・小野田医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 32 | 34 | 35 | 35 | 34 | 31 | 30 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 339 | 343 | 338 | 324 | 310 | 294 | 284 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 18 | 18 | 19 | 20 | 19 | 18 | 17 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 107 | 112 | 115 | 118 | 115 | 108 | 103 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 708 | 682 | 661 | 636 | 607 | 571 | 533 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 503 | 523 | 530 | 539 | 521 | 488 | 465 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 20 | 20 | 20 | 18 | 17 | 17 | 16 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 524 | 549 | 561 | 582 | 568 | 530 | 504 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 241 | 256 | 266 | 284 | 278 | 258 | 245 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 146 | 149 | 149 | 150 | 145 | 136 | 129 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 39 | 41 | 42 | 42 | 41 | 38 | 36 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 215 | 222 | 226 | 229 | 221 | 206 | 196 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 165 | 173 | 176 | 180 | 174 | 163 | 155 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 25 | 22 | 21 | 20 | 18 | 17 | 15 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 18 | 15 | 14 | 14 | 13 | 12 | 10 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 8 | 7 | 7 | 6 | 5 | 5 | 5 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 49 | 51 | 53 | 55 | 54 | 50 | 48 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 391 | 408 | 417 | 436 | 425 | 395 | 373 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 38 | 40 | 42 | 45 | 45 | 42 | 39 |
| 総数 | 3,599 | 3,678 | 3,702 | 3,745 | 3,621 | 3,387 | 3,211 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 下関医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 35 | 37 | 37 | 37 | 35 | 32 | 31 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 362 | 364 | 354 | 337 | 320 | 302 | 289 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 18 | 17 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 116 | 121 | 122 | 123 | 119 | 111 | 105 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 751 | 721 | 692 | 659 | 624 | 583 | 539 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 544 | 562 | 561 | 562 | 537 | 500 | 474 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 21 | 22 | 21 | 19 | 18 | 17 | 17 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 5 | 6 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 568 | 593 | 597 | 608 | 585 | 544 | 515 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 262 | 277 | 282 | 295 | 285 | 264 | 250 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 157 | 159 | 157 | 156 | 149 | 139 | 131 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 42 | 44 | 44 | 44 | 42 | 39 | 37 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 232 | 239 | 239 | 239 | 228 | 212 | 200 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 179 | 186 | 186 | 187 | 179 | 167 | 158 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 25 | 21 | 19 | 18 | 18 | 16 | 14 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 18 | 15 | 13 | 13 | 12 | 11 | 10 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 8 | 7 | 7 | 6 | 5 | 5 | 4 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 53 | 55 | 56 | 58 | 55 | 51 | 49 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 424 | 440 | 444 | 455 | 437 | 404 | 380 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 42 | 44 | 45 | 47 | 46 | 43 | 40 |
| 総数 | 3,870 | 3,938 | 3,908 | 3,896 | 3,723 | 3,468 | 3,272 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 長門医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 54 | 53 | 51 | 47 | 42 | 38 | 34 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 18 | 19 | 18 | 18 | 17 | 15 | 13 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 109 | 101 | 93 | 85 | 78 | 69 | 61 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 84 | 85 | 82 | 81 | 76 | 67 | 59 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 89 | 91 | 89 | 89 | 85 | 75 | 66 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 42 | 43 | 42 | 44 | 42 | 37 | 32 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 24 | 23 | 22 | 22 | 20 | 18 | 16 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 36 | 36 | 35 | 34 | 32 | 28 | 25 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 28 | 28 | 27 | 27 | 26 | 23 | 20 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 8 | 9 | 8 | 8 | 8 | 7 | 6 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 66 | 67 | 65 | 66 | 63 | 55 | 48 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 5 |
| 総数 | 589 | 586 | 564 | 550 | 515 | 456 | 402 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 萩医療圏｜ICD別の入院患者数推計

| ICD分類 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　感染症及び寄生虫症 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 6 | 6 |
| Ⅱ　新生物＜腫瘍＞ | 81 | 78 | 74 | 68 | 62 | 56 | 50 |
| Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患 | 27 | 27 | 26 | 26 | 24 | 22 | 19 |
| Ⅴ　精神及び行動の障害 | 162 | 149 | 137 | 125 | 113 | 101 | 88 |
| Ⅵ　神経系の疾患 | 124 | 123 | 119 | 116 | 108 | 96 | 86 |
| Ⅶ　眼及び付属器の疾患 | 5 | 5 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| Ⅸ　循環器系の疾患 | 132 | 133 | 130 | 128 | 121 | 107 | 95 |
| Ⅹ　呼吸器系の疾患 | 61 | 62 | 61 | 63 | 60 | 53 | 47 |
| ⅩⅠ　消化器系の疾患 | 35 | 34 | 33 | 31 | 29 | 26 | 23 |
| ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患 | 10 | 10 | 10 | 9 | 9 | 8 | 7 |
| ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患 | 53 | 53 | 51 | 49 | 46 | 41 | 36 |
| ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患 | 41 | 41 | 40 | 39 | 36 | 32 | 29 |
| ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| ⅩⅥ　周産期に発生した病態 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 12 | 13 | 12 | 12 | 12 | 10 | 9 |
| ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 97 | 97 | 95 | 94 | 89 | 79 | 69 |
| ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ⅩⅩⅡ　特殊目的用コード | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 9 | 8 |
| 総数 | 870 | 856 | 821 | 794 | 739 | 657 | 583 |

出典：「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 医療機関の配置状況

## ○　山口県の一般病床・療養病床を有する医療機関数及び病床機能別病床数

| | 医療機関数 | | 病床数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 病院数 | 有床診療所 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休　棟 | 合　計 |
| 岩国 | 14 | 6 | 266 | 406 | 256 | 651 | 9 | 1,588 |
| 柳井 | 6 | 5 | 0 | 291 | 199 | 671 | 39 | 1,200 |
| 周南 | 20 | 8 | 463 | 754 | 789 | 1,027 | 23 | 3,056 |
| 山口・防府 | 20 | 13 | 499 | 1,163 | 719 | 838 | 66 | 3,285 |
| 宇部・小野田 | 21 | 8 | 378 | 1,694 | 657 | 1,219 | 54 | 4,002 |
| 下関 | 19 | 23 | 254 | 1,252 | 934 | 1,310 | 332 | 4,082 |
| 長門 | 3 | 3 | 0 | 321 | 40 | 135 | 2 | 498 |
| 萩 | 6 | 3 | 0 | 234 | 57 | 428 | 58 | 777 |
| 合計 | 109 | 69 | 1,860 | 6,115 | 3,651 | 6,279 | 583 | 18,488 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# ○ 人口１０万人対の数値

| | 医療機関数 | | 病床数 | | | | | | 人口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 病院数 | 有床診療所 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休　棟 | 合　計 | |
| 岩国 | 11 | 5 | 212 | 324 | 204 | 520 | 7 | 1,268 | 125245 |
| 柳井 | 9 | 7 | 0 | 433 | 296 | 999 | 58 | 1,786 | 67175 |
| 周南 | 9 | 3 | 200 | 326 | 341 | 444 | 10 | 1,322 | 231121 |
| 山口・防府 | 7 | 4 | 167 | 390 | 241 | 281 | 22 | 1,102 | 298051 |
| 宇部・小野田 | 9 | 3 | 164 | 733 | 284 | 528 | 23 | 1,732 | 231000 |
| 下関 | 8 | 10 | 107 | 528 | 394 | 552 | 140 | 1,720 | 237259 |
| 長門 | 10 | 10 | 0 | 1,107 | 138 | 466 | 7 | 1,717 | 28999 |
| 萩 | 14 | 7 | 0 | 552 | 135 | 1,010 | 137 | 1,834 | 42376 |
| 山口県 | 9 | 5 | 147 | 485 | 289 | 498 | 46 | 1,466 | 1261226 |

| | 高度急性期＋急性期 |
|---|---|
| 岩国 | 537 |
| 柳井 | 433 |
| 周南 | 527 |
| 山口・防府 | 558 |
| 宇部・小野田 | 897 |
| 下関 | 635 |
| 長門 | 1,107 |
| 萩 | 552 |
| 山口県 | 632 |

出典元：令和７年度病床機能報告、山口県市町年齢別推計人口（令和７年１０月１日現在）

# 医療従事者の確保状況

| | 医師数 | 看護師数 | 薬剤師数 | PT・OT・ST数 |
|---|---|---|---|---|
| 岩国 | 355.8 | 1291.2 | 62.5 | 190.6 |
| 柳井 | 180.5 | 797.7 | 38.3 | 85 |
| 周南 | 609.9 | 2370.8 | 101.1 | 468.9 |
| 山口・防府 | 968 | 2995.6 | 128.3 | 498.3 |
| 宇部・小野田 | 1130.5 | 3257.2 | 184.6 | 482.3 |
| 下関 | 811.3 | 2792 | 132.5 | 679.5 |
| 長門 | 79.9 | 317.4 | 24.4 | 55.5 |
| 萩 | 122.1 | 386.5 | 17.5 | 79.5 |
| 山口県 | 4258 | 14208.4 | 689.2 | 2539.6 |

出典元：：「令和５(2023)年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）

# ○　人口１０万人対の数値

| | 医師数 | 看護師数 | 薬剤師数 | PT・OT・ST数 | 人口 |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩国 | 284.1 | 1,030.9 | 49.9 | 152.2 | 125,245 |
| 柳井 | 268.7 | 1,187.5 | 57.0 | 126.5 | 67,175 |
| 周南 | 263.9 | 1,025.8 | 43.7 | 202.9 | 231,121 |
| 山口・防府 | 324.8 | 1,005.1 | 43.0 | 167.2 | 298,051 |
| 宇部・小野田 | 489.4 | 1,410.0 | 79.9 | 208.8 | 231,000 |
| 下関 | 341.9 | 1,176.8 | 55.8 | 286.4 | 237,259 |
| 長門 | 275.5 | 1,094.5 | 84.1 | 191.4 | 28,999 |
| 萩 | 288.1 | 912.1 | 41.3 | 187.6 | 42,376 |
| 山口県 | 337.6 | 1,126.6 | 54.6 | 201.4 | 1,261,226 |

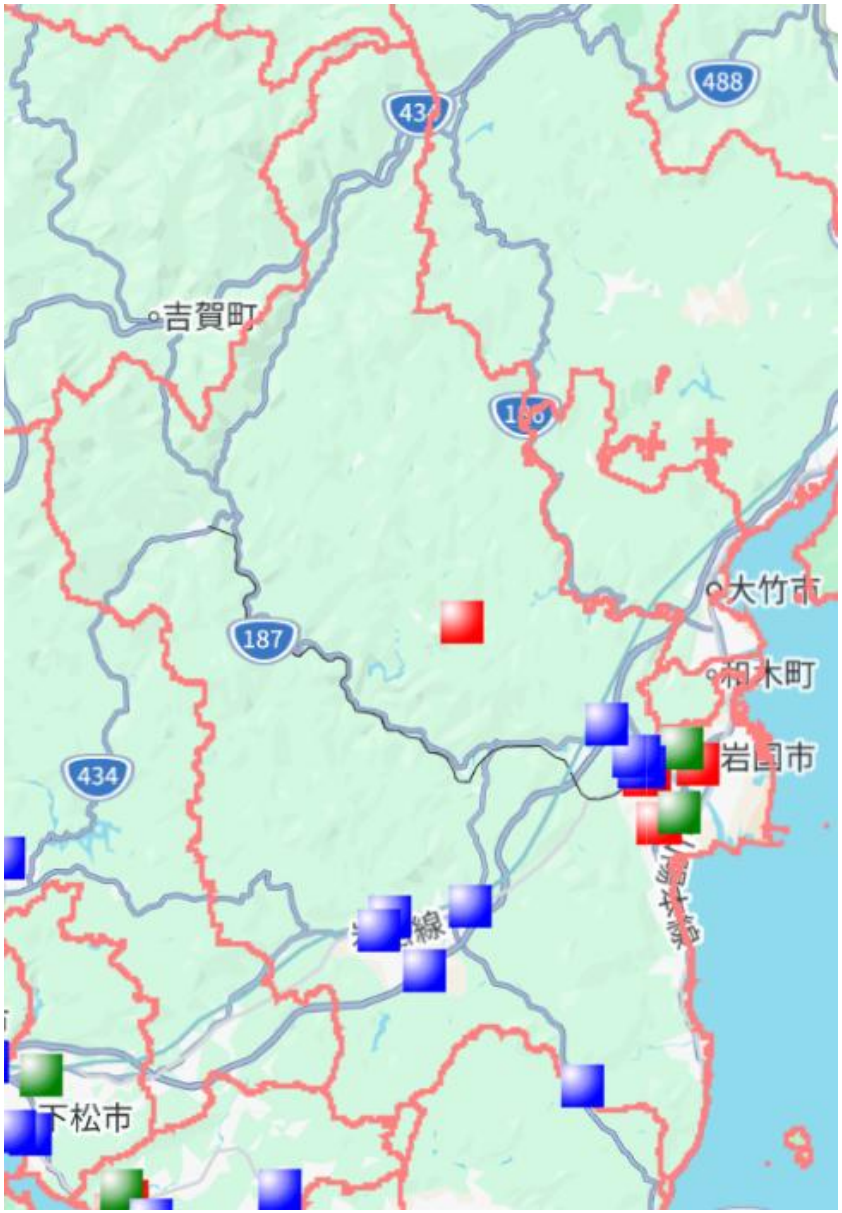
出典元：：「令和５(2023)年医療施設（静態・動態）調査」(厚生労働省)、山口県市町年齢別推計人口（令和７年１０月１日現在）

# 医療（病院）へのアクセス




高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 岩国圏域の医療機関（病院）へのアクセス







高度急性期又は急性期のみ

混合

回復期又は慢性期のみ

# 柳井圏域の医療機関（病院）へのアクセス




高度急性期又は急性期のみ

混合

回復期又は慢性期のみ

# 周南圏域の医療機関（病院）へのアクセス

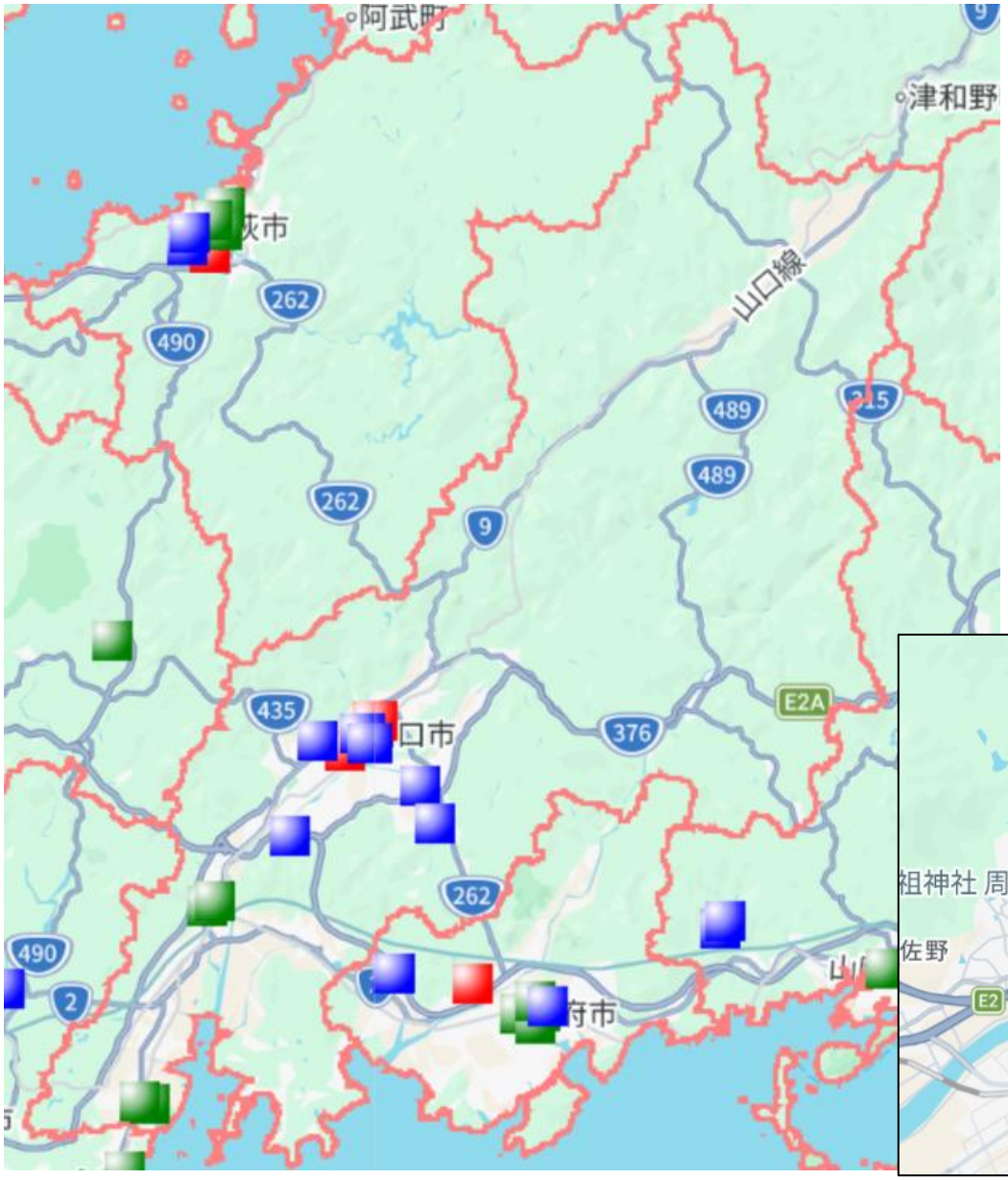



高度急性期又は急性期のみ

混合

回復期又は慢性期のみ

# 山口・防府圏域の医療機関（病院）へのアクセス










高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 宇部・小野田圏域の医療機関（病院）へのアクセス







高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 下関圏域の医療機関（病院）へのアクセス







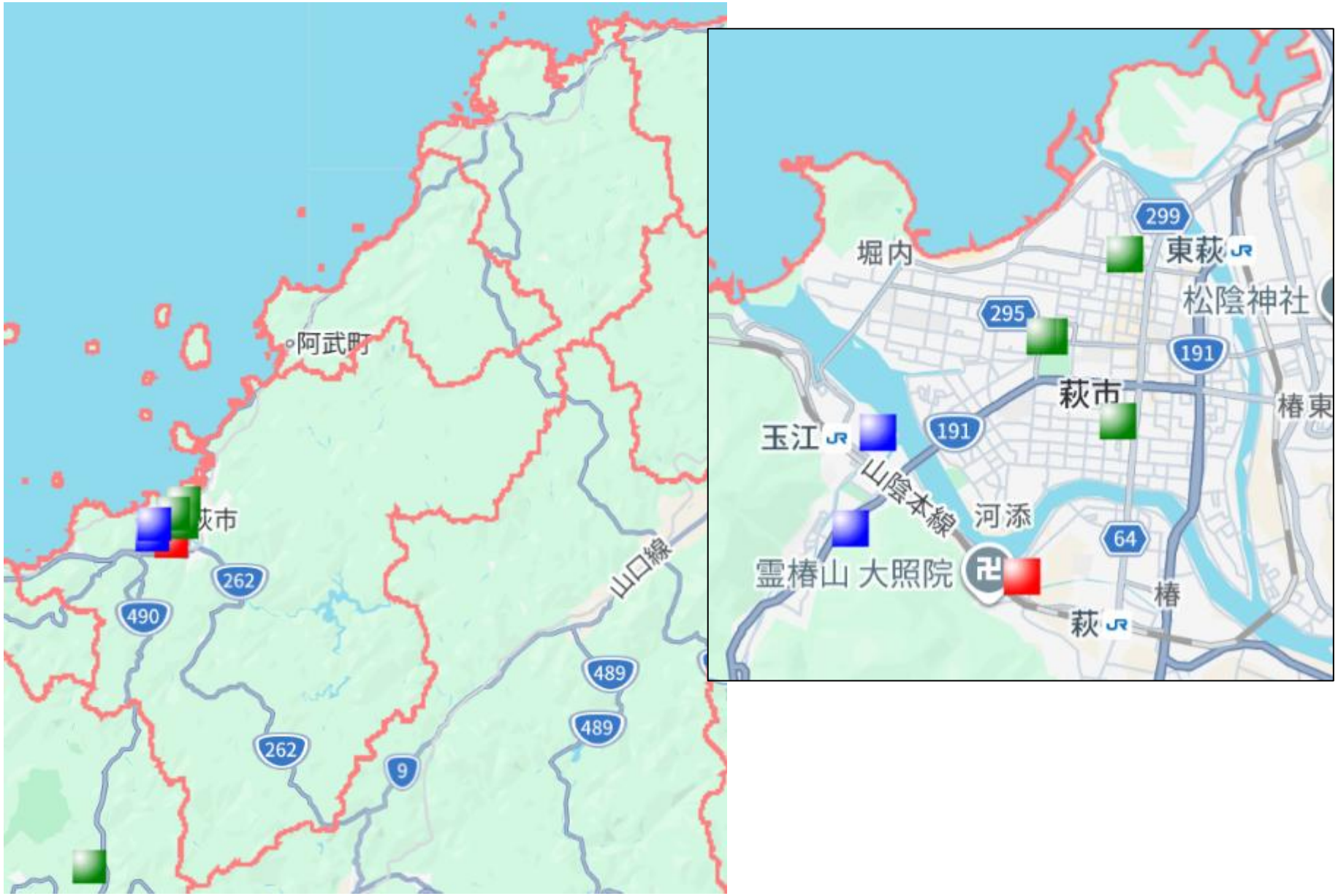
高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 長門圏域の医療機関（病院）へのアクセス




高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 萩圏域の医療機関（病院）へのアクセス




高度急性期又は急性期のみ　混合　回復期又は慢性期のみ

# 急性期拠点機能の関連のデータ

## 岩国圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 岩国医療センター | 2703 | 341 | 5102 | 544.8 | 118 | 0.7 | 421 | 5.1 | 2013 |
| 岩国市医療センター医師会病院 | 325 | 5 | 369 | 104.5 | 9 | 3.3 | 89 | 3.2 | 1993 |
| 医療法人錦病院 | 53 | 1 | 93 | 25.9 | 4 | 1.1 | 18 | 1.8 | 1982 |
| 医療法人光風会　岩国中央病院 | 15 | 0 | 12 | 16 | 1 | 2 | 13 | 0 | 1977 |
| 岩国第一病院 | 0 | 0 | 0 | 12.3 | 1 | 1 | 6 | 3 | 1994 |
| 医療法人全生会　周防病院 | 0 | 0 | 0 | 37.5 | 3 | 1.5 | 33 | 0 | 1997 |
| 医療法人新生会　いしい記念病院 | 0 | 0 | 0 | 20.5 | 5 | 2.1 | 10 | 3.4 | 2000 |
| 医療法人玖玉会　玖珂中央病院 | 0 | 0 | 0 | 49.8 | 4 | 2.3 | 40 | 1.5 | 1982 |
| 岩国市立美和病院 | 0 | 4 | 334 | 21.2 | 5 | 0.2 | 16 | 0 | 2025 |
| 山口平成病院 | 0 | 0 | 11 | 40.1 | 3 | 1.8 | 28 | 7.3 | — |
| 医療法人清志会　藤政病院 | 0 | 3 | 261 | 12 | 3 | 0.4 | 7 | 0.6 | 1989 |
| 医療法人岩国病院 | 0 | 1 | 25 | 16.7 | 3 | 0.4 | 11 | 1.3 | — |
| 岩国みなみ病院 | 0 | 0 | 87 | 16.6 | 1 | 1.2 | 13 | 0.8 | 1994 |
| 特定医療法人南和会　みどり病院 | 0 | 0 | 0 | 27.3 | 3 | 1.6 | 19 | 3.7 | 1988 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 柳井圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 周東総合病院 | 1325 | 100 | 2590 | 211.5 | 43 | 6.8 | 155 | 5.5 | 2006 |
| 柳井医療センター | 14 | 0 | 120 | 154.9 | 14 | 2.9 | 135 | 3 | 2013 |
| 周防大島町立東和病院 | 1 | 0 | 118 | 35.7 | 5 | 3.7 | 27 | 0 | 2013 |
| 医療法人松栄会　坂本病院 | 0 | 0 | 0 | 23.7 | 2 | 1.2 | 14 | 4.5 | 1999 |
| 周防大島町立大島病院 | 0 | 3 | 419 | 68.4 | 5 | 5.4 | 54 | 4 | 2010 |
| 医療法人光輝会　光輝病院 | 0 | 0 | 0 | 42.9 | 2 | 5.9 | 33 | 0.6 | 1981 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 周南圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 徳山中央病院 | 3367 | 343 | 5843 | 587.9 | 110 | 29.8 | 430 | 12.5 | 1976 |
| 周南記念病院 | 675 | 44 | 2356 | 124.6 | 19 | 8.1 | 94 | 3.5 | 2000 |
| 光市立光総合病院 | 442 | 25 | 1250 | 145.8 | 18 | 3.4 | 123 | 1.4 | 2019 |
| 周南市立新南陽市民病院 | 124 | 7 | 1030 | 98.6 | 12 | 4.7 | 77 | 4.9 | 2000 |
| 徳山医師会病院 | 106 | 0 | 244 | 135.7 | 12 | 5.4 | 115 | 1.3 | 2000 |
| 下松中央病院 | 74 | 0 | 126 | 68.9 | 8 | 0.9 | 57 | 0 | 1964 |
| 黒川病院 | 24 | 0 | 0 | 26.2 | 3 | 0.2 | 22 | 0 | 2012 |
| 医療法人至誠会　梅田病院 | 2 | 57 | 7 | 12.4 | 6 | 0.4 | 6 | 0 | 2015 |
| 下松病院 | 0 | 0 | 1 | 20.1 | 2 | 1.7 | 12 | 2.4 | 1997 |
| 光市立大和総合病院 | 0 | 0 | 17 | 110.7 | 5 | 4.9 | 89 | 10.4 | 1975 |
| 医療法人陽光会　光中央病院 | 0 | 0 | 175 | 48.2 | 4 | 5.2 | 39 | 0 | 1965 |
| 医療法人三生会　みちがみ病院 | 0 | 57 | 0 | 11.2 | 3 | 1.2 | 7 | 0 | 2006 |
| 周南高原病院 | 0 | 0 | 8 | 40.4 | 5 | 2.2 | 32 | 1.2 | 2000 |
| 徳山リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 81 | 6 | 10 | 57 | 8 | 2012 |
| 徳山病院 | 0 | 0 | 167 | 62 | 3 | 12 | 38 | 7 | 2020 |
| 医療法人仁徳会　周南病院 | 0 | 0 | 26 | 25 | 4 | 1.4 | 17 | 2.6 | 2024 |
| 周南リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 107.5 | 7 | 3.5 | 91 | 6 | 1999 |
| 医療法人治徳会　湯野温泉病院 | 0 | 0 | 0 | 37.2 | 4 | 0.3 | 30 | 0.2 | — |
| 鼓ヶ浦こども医療福祉センター | 0 | 0 | 0 | 61.9 | 8 | 1 | 48 | 1.2 | 1994 |
| 医療法人社団諍友会　田中病院 | 0 | 40 | 4 | 5.5 | 2 | 0.5 | 3 | 0 | — |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 山口・防府圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 山口県立総合医療センター | 3210 | 390 | 3084 | 498.7 | 141 | 0.5 | 355 | 1.2 | 1983 |
| 綜合病院山口赤十字病院 | 1973 | 185 | 2550 | 323.4 | 76 | 7.4 | 233 | 4 | 1999 |
| 済生会山口総合病院 | 1930 | 163 | 2611 | 282 | 58 | 2 | 222 | 0 | — |
| 小郡第一総合病院 | 859 | 70 | 948 | 134.7 | 29 | 1.7 | 104 | 0 | — |
| 防府胃腸病院 | 279 | 12 | 402 | 54 | 5 | 5.7 | 40 | 3.3 | — |
| 医療法人米沢記念　桑陽病院 | 209 | 2 | 418 | 58.1 | 9 | 1.1 | 48 | 0 | 1999 |
| 医療法人社団松友会　松本外科病院 | 164 | 37 | 750 | 40 | 3 | 3.9 | 26 | 5.1 | — |
| 阿知須共立病院 | 139 | 8 | 465 | 71.2 | 9 | 6.6 | 53 | 2.6 | 2015 |
| 医療法人神徳会　三田尻病院 | 90 | 10 | 644 | 71.5 | 12 | 7.7 | 46 | 4.7 | 1990 |
| 医療法人社団向陽会　阿知須同仁病院 | 70 | 0 | 233 | 34.3 | 4 | 4.7 | 24 | 1.6 | — |
| 医療法人社団水生会　柴田病院 | 0 | 0 | 266 | 32.4 | 5 | 2.2 | 23 | 2.2 | 1978 |
| 林病院 | 0 | 0 | 181 | 24 | 4 | 2 | 18 | 0 | 1994 |
| 済生会湯田温泉病院 | 0 | 0 | 23 | 49.9 | 6 | 1.3 | 40 | 2.6 | — |
| 山口リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 66.6 | 4 | 5.2 | 54 | 3.1 | 1986 |
| 医療法人丘病院（おか整形外科病院） | 0 | 0 | 13 | 9.9 | 1 | 0 | 8 | 0.9 | 1977 |
| 医療法人樹一会　山口病院 | 0 | 0 | 16 | 25.2 | 4 | 9 | 7 | 3.2 | 1998 |
| 山口若宮病院 | 0 | 0 | 0 | 29.5 | 1 | 3 | 24 | 0.5 | 1986 |
| 緑町三祐病院 | 0 | 1 | 274 | 29.5 | 4 | 2 | 18 | 4.5 | 2001 |
| 防府リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 52.9 | 3 | 3.4 | 45 | 1.3 | 1989 |
| 医療法人博愛会　山口博愛病院 | 0 | 0 | 65 | 42.9 | 3 | 3.1 | 36 | 0.8 | 1993 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 宇部・小野田圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 山口大学医学部附属病院（参考） | 6517 | 352 | 1579 | 1058.8 | 257 | 140.8 | 641 | 1.6 | — |
| 山口労災病院 | 1404 | 120 | 2401 | 259.1 | 49 | 2.2 | 206 | 0.9 | 1995 |
| 宇部興産中央病院 | 1129 | 133 | 2398 | 251.6 | 50 | 1.6 | 199 | 0 | 1974 |
| 山陽小野田市民病院 | 584 | 148 | 915 | 122 | 25 | 6.1 | 86 | 3.5 | 2014 |
| 医療法人聖比留会　セントヒル病院 | 281 | 14 | 456 | 102.5 | 18 | 2.5 | 78 | 0 | 1980 |
| 山口宇部医療センター | 188 | 0 | 294 | 248.4 | 27 | 0.8 | 219 | 1.6 | 1998 |
| 美祢市立病院 | 87 | 3 | 467 | 65.2 | 8 | 5.6 | 50 | 1.6 | 1990 |
| 社会医療法人尾中病院 | 18 | 4 | 305 | 50.2 | 6 | 4.1 | 35 | 2.1 | 2020 |
| 宇部協立病院 | 14 | 8 | 648 | 85.2 | 11 | 4 | 65 | 5.2 | — |
| 医療法人博愛会　宇部記念病院 | 7 | 0 | 113 | 63.2 | 7 | 4.4 | 48 | 2.8 | 1984 |
| 医療法人社団清冨会　サンポプラ病院 | 0 | 0 | 3 | 11 | 1 | 2 | 7 | 0 | 2014 |
| 医療法人仁心会　宇部仁心会病院 | 0 | 0 | 16 | 18.9 | 2 | 1.9 | 14 | 0 | 2006 |
| 医療法人社団泉仁会　宇部第一病院 | 0 | 0 | 12 | 47 | 3 | 12 | 31 | 0 | 1979 |
| 宇部リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 66.8 | 5 | 2.6 | 53 | 6.2 | 1979 |
| 医療法人聖比留会　厚南セントヒル病院 | 0 | 0 | 100 | 47 | 7 | 0 | 40 | 0 | 1987 |
| 医療法人太白会　シーサイド病院 | 0 | 0 | 0 | 27.2 | 5 | 6 | 15 | 1.2 | 1981 |
| 宇部西リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 14 | 79.7 | 10 | 0.8 | 67 | 1.9 | 2012 |
| 美祢市立美東病院 | 0 | 2 | 296 | 44.6 | 6 | 2.8 | 35 | 0.8 | 1999 |
| 長沢病院 | 0 | 0 | 7 | 13.3 | 3 | 0 | 9 | 0 | 2001 |
| 小野田赤十字病院 | 0 | 0 | 108 | 24.8 | 5 | 1.3 | 15 | 0.5 | 1979 |
| 医療法人社団輝斉会　森田病院 | 0 | 0 | 10 | 10 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1978 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 下関圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） |
| 山口県済生会下関総合病院 | 2295 | 284 | 4333 | 379.8 | 87 | 7.9 | 266 | 17.8 |
| 下関市立市民病院 | 1680 | 140 | 3263 | 277.6 | 68 | 0.5 | 198 | 8.1 |
| 関門医療センター | 1387 | 113 | 3382 | 318.2 | 73 | 0.8 | 230 | 2.4 |
| 下関医療センター | 923 | 73 | 2563 | 172.4 | 42 | 0.5 | 126 | 2.9 |
| 山口県済生会豊浦病院 | 310 | 19 | 752 | 134.3 | 11 | 11.3 | 112 | 0 |
| よしみず病院 | 0 | 0 | 42 | 172.7 | 17 | 9.2 | 123 | 22.2 |
| 医療法人星の里会　岡病院 | 0 | 0 | 1 | 10.9 | 2 | 0.9 | 6 | 0 |
| 桃崎病院 | 0 | 0 | 20 | 13.7 | 3 | 2.5 | 5 | 1.2 |
| 下関リハビリテーション病院 | 0 | 0 | 0 | 75.8 | 5 | 0 | 70 | 0.8 |
| 下関市立豊田中央病院 | 0 | 0 | 186 | 37 | 7 | 2.2 | 23 | 4.8 |
| 前田内科病院 | 0 | 0 | 0 | 20.3 | 2 | 1.3 | 16 | 0 |
| 医療法人社団季朋会　王司病院 | 0 | 0 | 2 | 45.7 | 10 | 2.6 | 26 | 5.5 |
| 医療法人長府病院 | 0 | 0 | 9 | 30.2 | 2 | 2.6 | 24 | 0.6 |
| 医療法人社団松涛会　安岡病院 | 0 | 0 | 34 | 108 | 13 | 2.5 | 75 | 12.5 |
| 医療法人社団青寿会　武久病院 | 0 | 0 | 0 | 62.3 | 9 | 1.3 | 51 | 0 |
| 医療法人元洋会　森山病院 | 0 | 0 | 0 | 25 | 4 | 1.3 | 17 | 2.7 |
| 医療法人其桃会　西尾病院 | 0 | 0 | 0 | 24.7 | 2 | 1.6 | 18 | 3.1 |
| 光風園病院 | 0 | 0 | 1 | 89.5 | 8 | 2.5 | 70 | 9 |
| 稗田病院 | 0 | 0 | 0 | 30.6 | 8 | 0 | 22 | 0.6 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 長門圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 長門総合病院 | 897 | 63 | 1091 | 149.5 | 27 | 7.3 | 114 | 1.2 | 1984 |
| 医療法人生山会　斎木病院 | 14 | 4 | 255 | 20.7 | 2 | 0.4 | 14 | 3.3 | 1967 |
| 医療法人社団成蹊会　岡田病院 | 0 | 0 | 464 | 34.1 | 5 | 4.7 | 15 | 6.4 | 1996 |

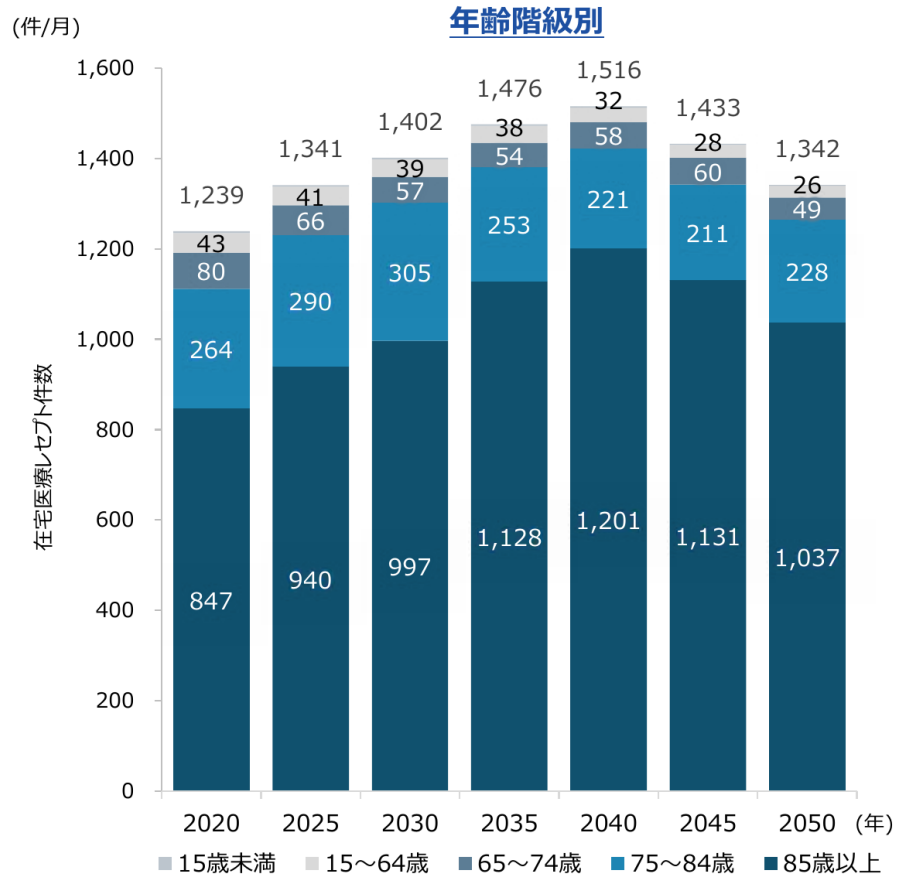
出典元：令和７年度病床機能報告

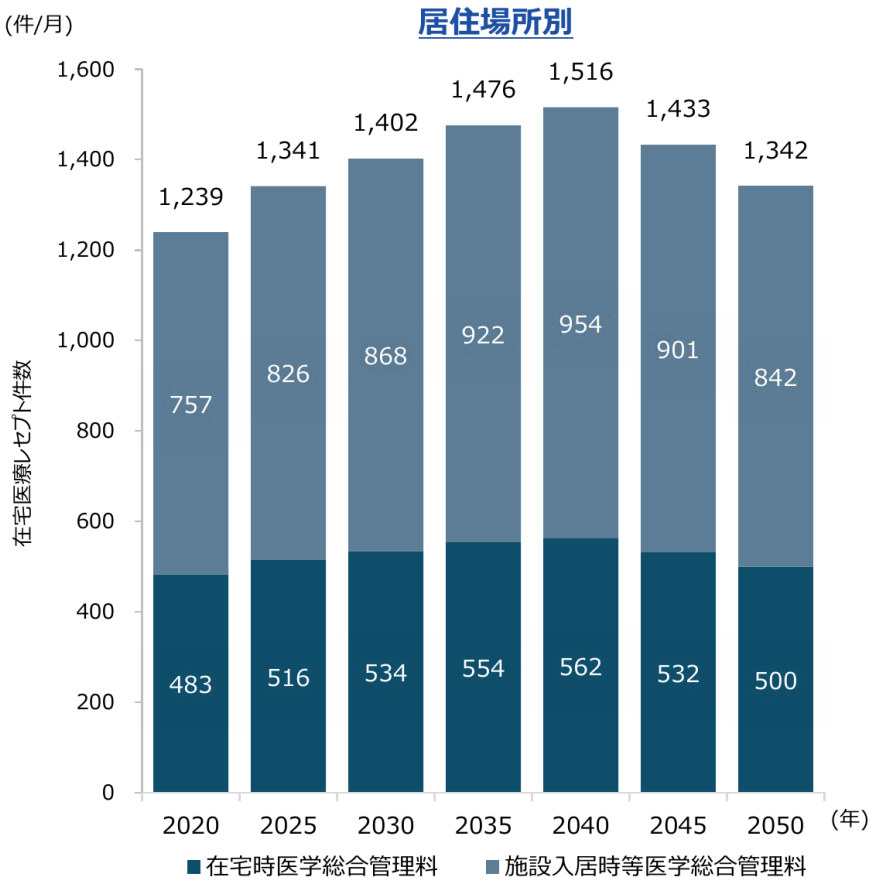
# 萩圏域の状況

| 医療機関名 | 手術に関する実績 | | 救急車の受入件数（年間） | 医療従事者数 | | | | | | 建築時期（最も古い施設） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全身麻酔の手術総数 | 緊急手術関連レセプト | | 合計（右記以外職種含む） | 医師（常勤） | 医師（非常勤） | 歯科医師（常勤） | 歯科医師（非常勤） | 看護師（常勤） | 看護師（非常勤） | |
| 萩市民病院 | 284 | 25 | 1268 | 85 | 15 | 3.7 | 0 | 0 | 63 | 3.3 | 1999 |
| 都志見病院 | 166 | 26 | 1138 | 63.3 | 10 | 4 | 0 | 0 | 48 | 1.3 | 1992 |
| 医療法人社団慈生会　萩慈生病院 | 0 | 0 | 0 | 37.8 | 2 | 2.6 | 0 | 0 | 31 | 1 | 1981 |
| 萩むらた病院 | 0 | 0 | 309 | 18.44 | 3 | 2.44 | 0 | 0 | 13 | 0 | 2013 |
| 全眞会病院 | 0 | 0 | 0 | 15.4 | 2 | 1.9 | 0 | 0 | 9 | 2.5 | 2001 |
| 玉木病院 | 0 | 0 | 142 | 39.5 | 1 | 4.8 | 0 | 0 | 31 | 0.7 | 1989 |

出典元：令和７年度病床機能報告

# 岩国医療圏｜在宅医療患者数の推計



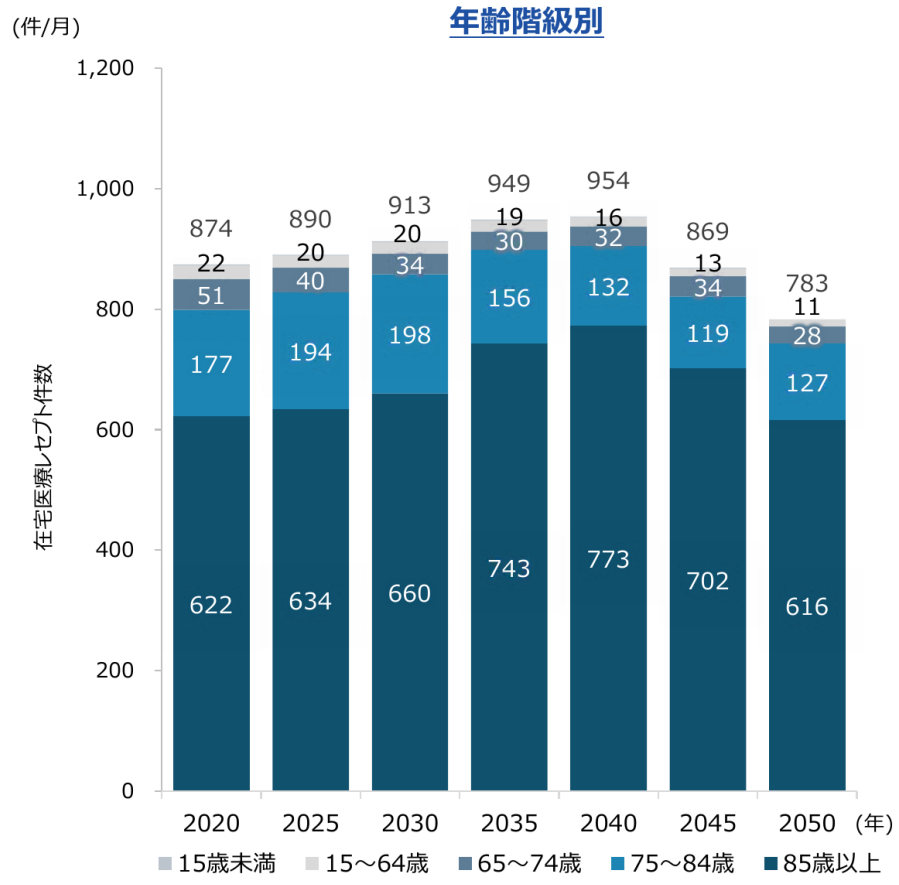



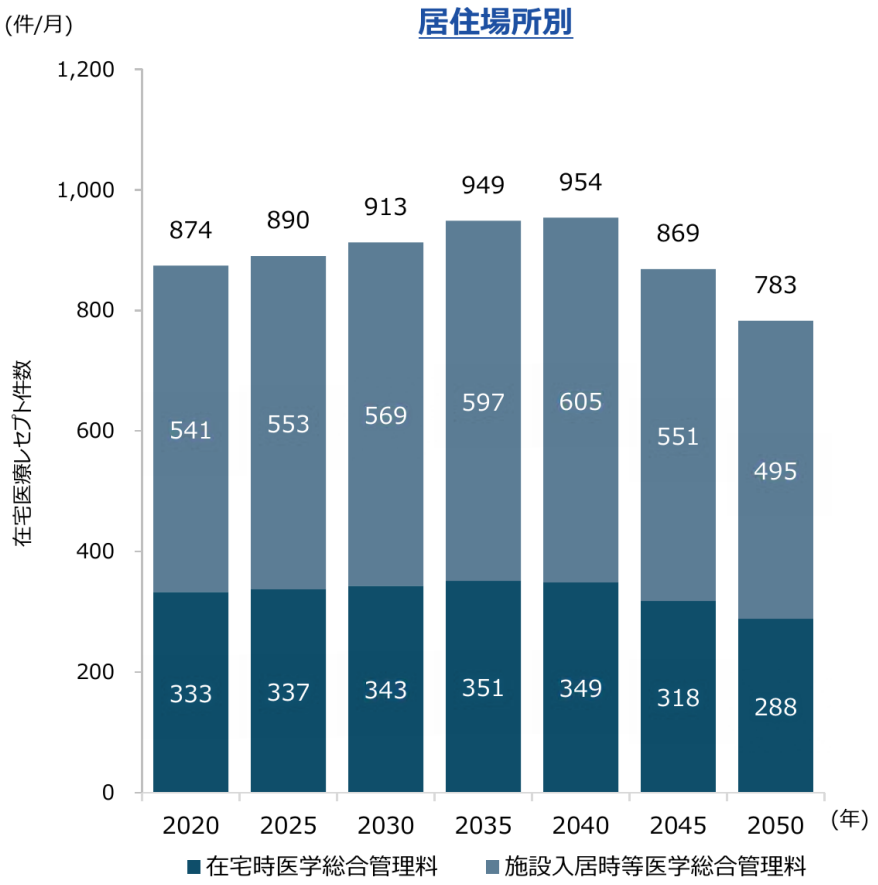

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 柳井医療圏｜在宅医療患者数の推計



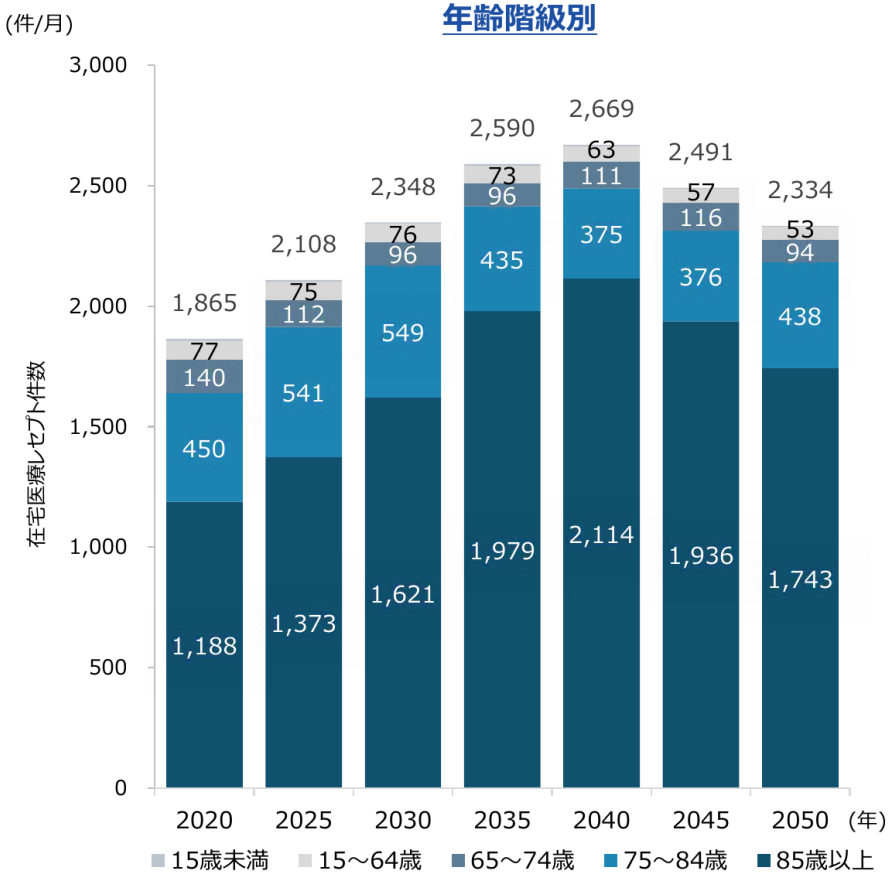

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

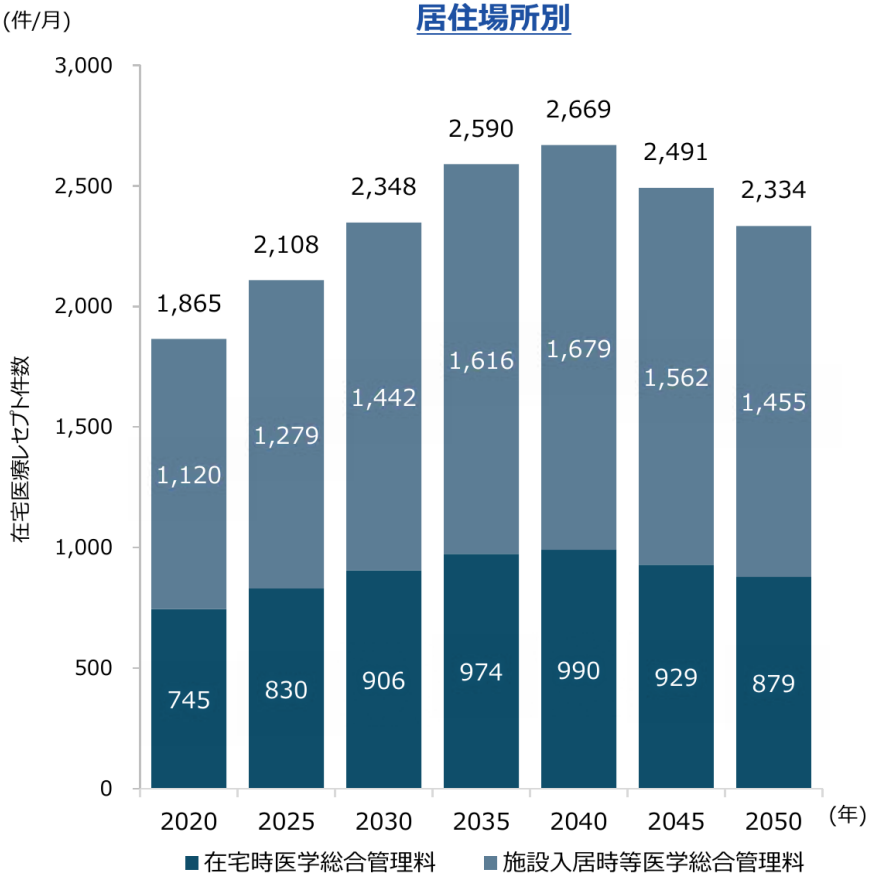
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 周南医療圏｜在宅医療患者数の推計

## 年齢階級別




## 居住場所別

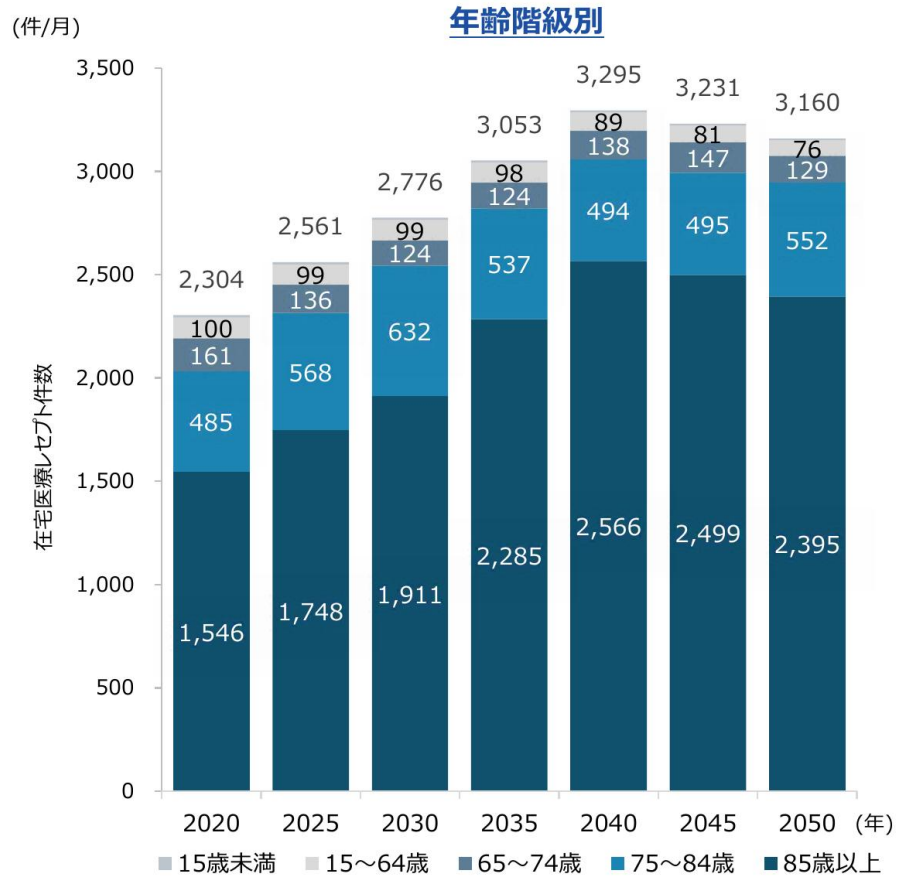


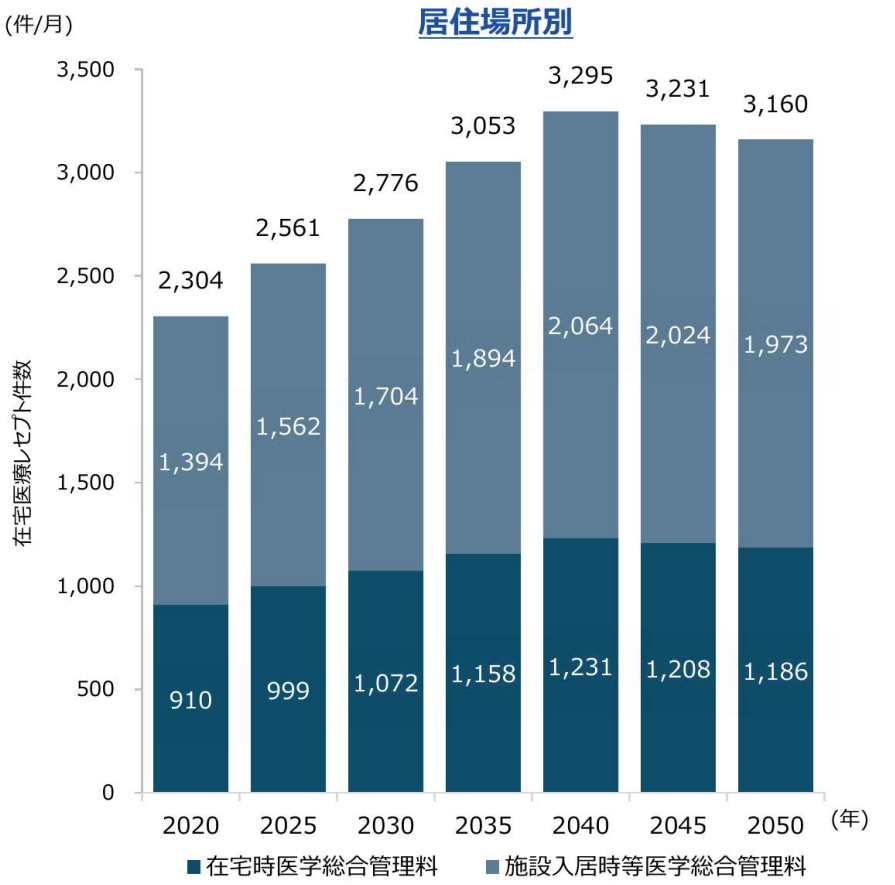

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 山口・防府医療圏｜在宅医療患者数の推計



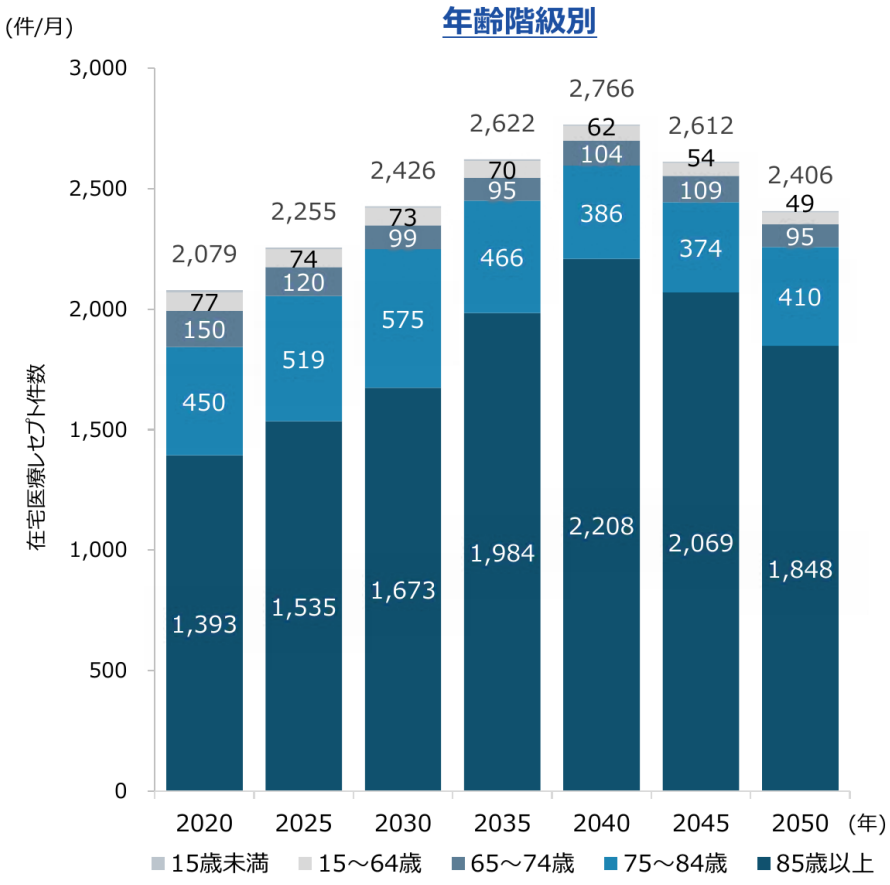



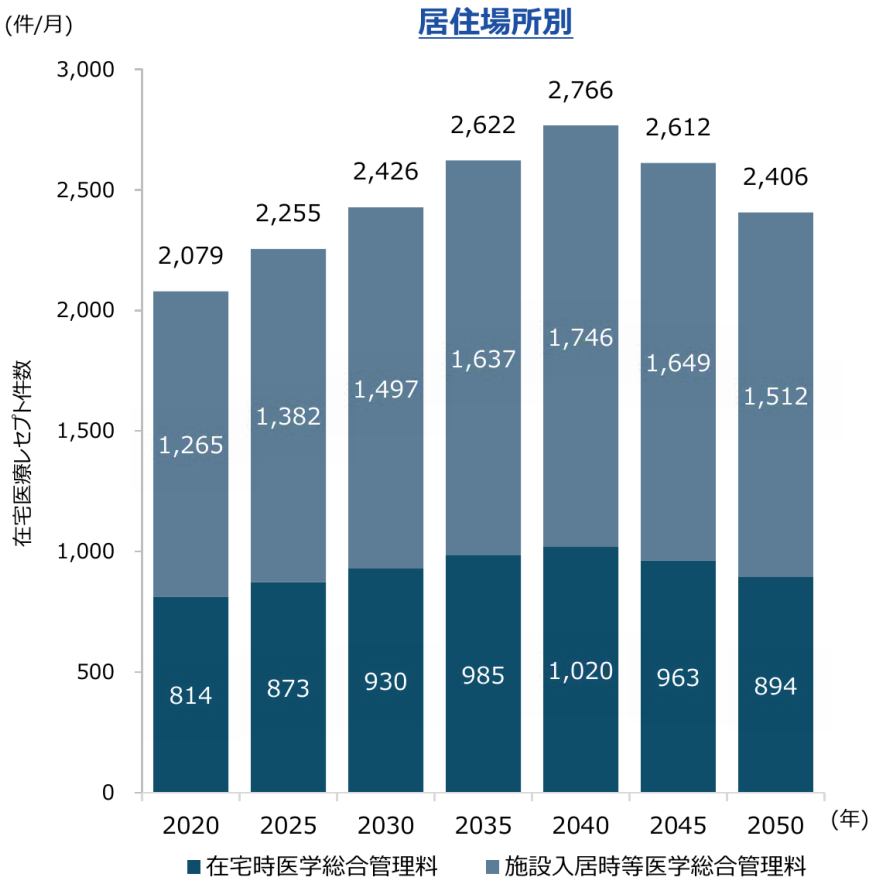

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 宇部・小野田医療圏｜在宅医療患者数の推計



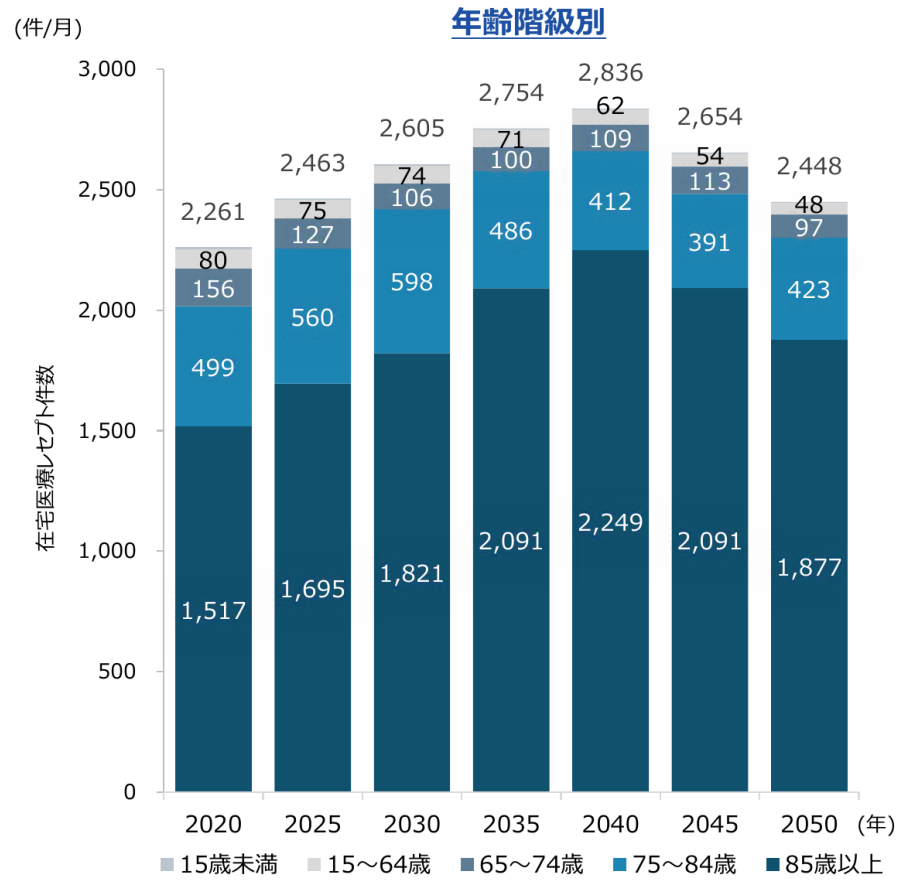



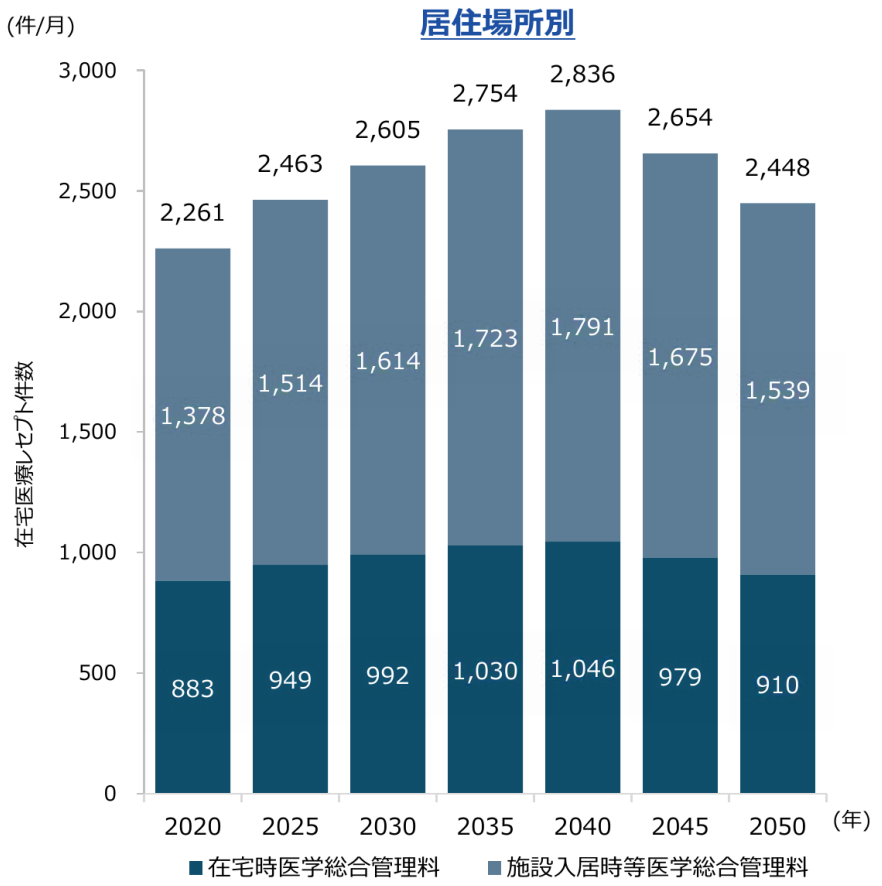

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 下関医療圏｜在宅医療患者数の推計



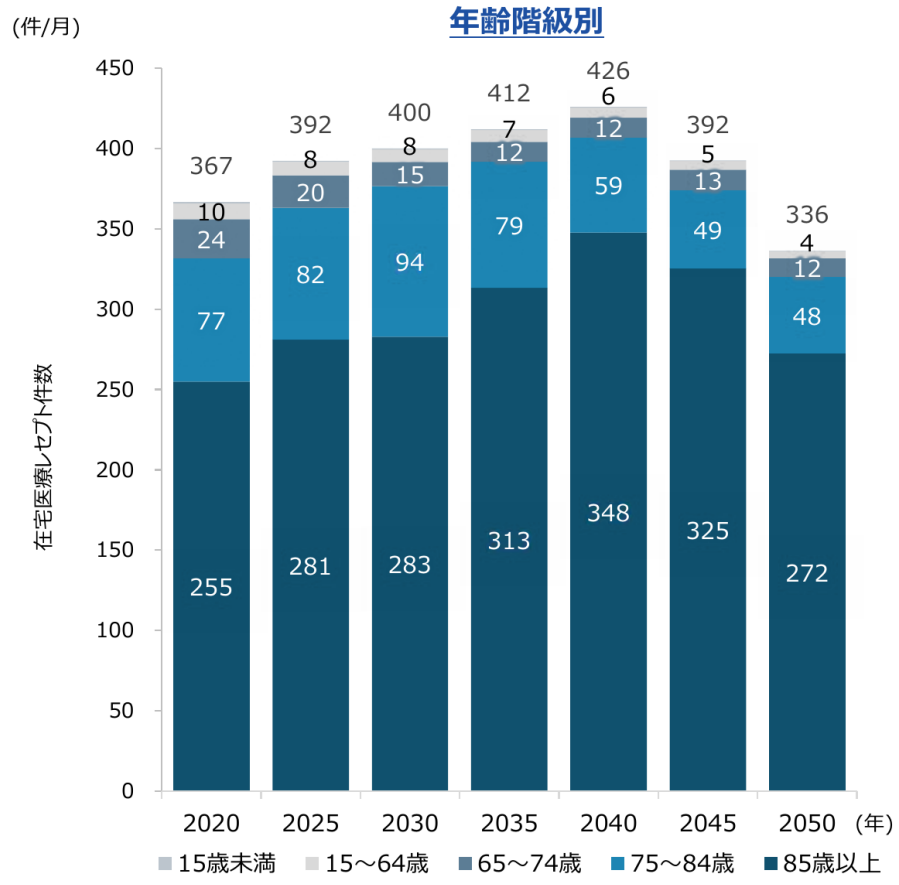



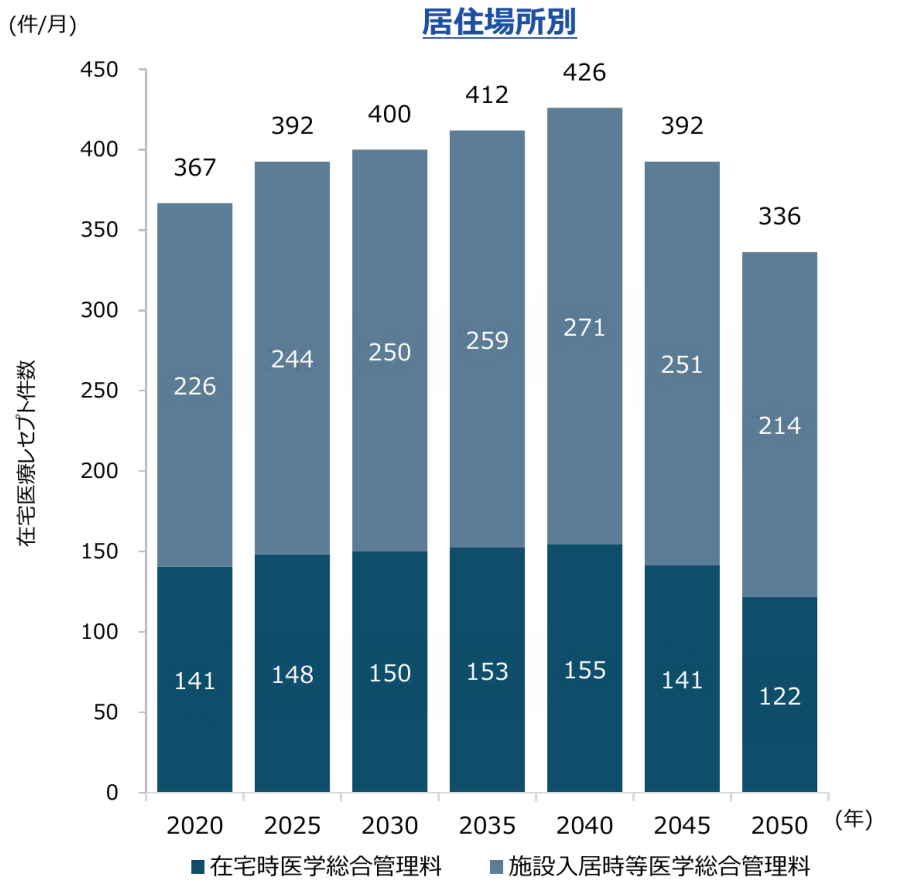

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 長門医療圏｜在宅医療患者数の推計



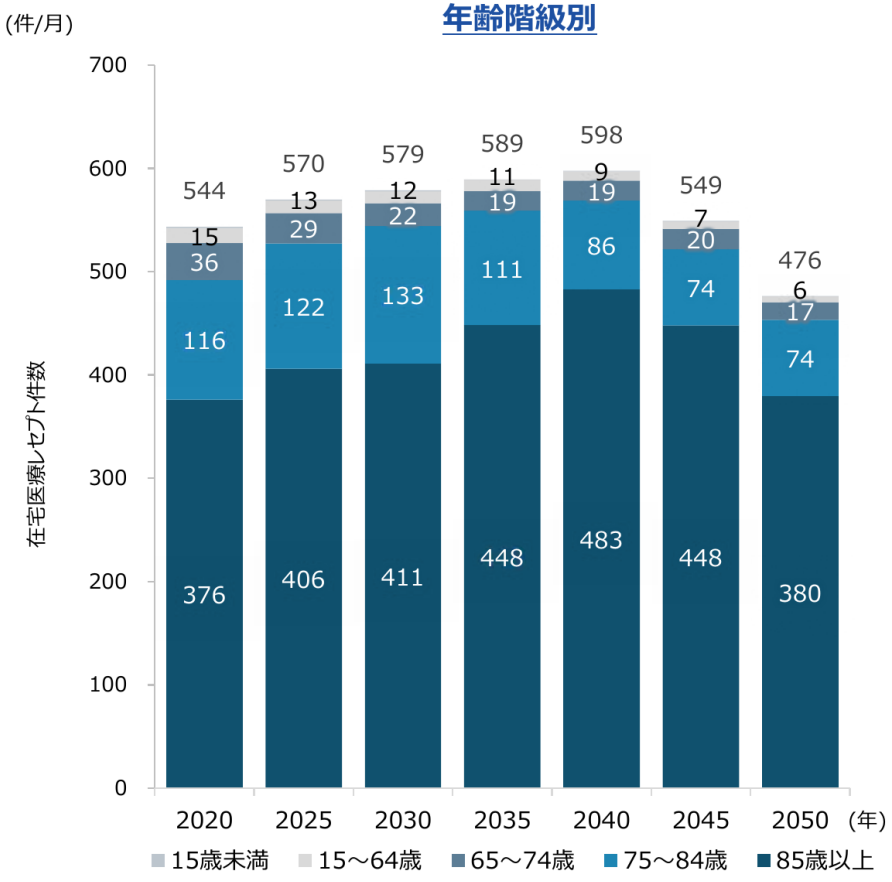

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

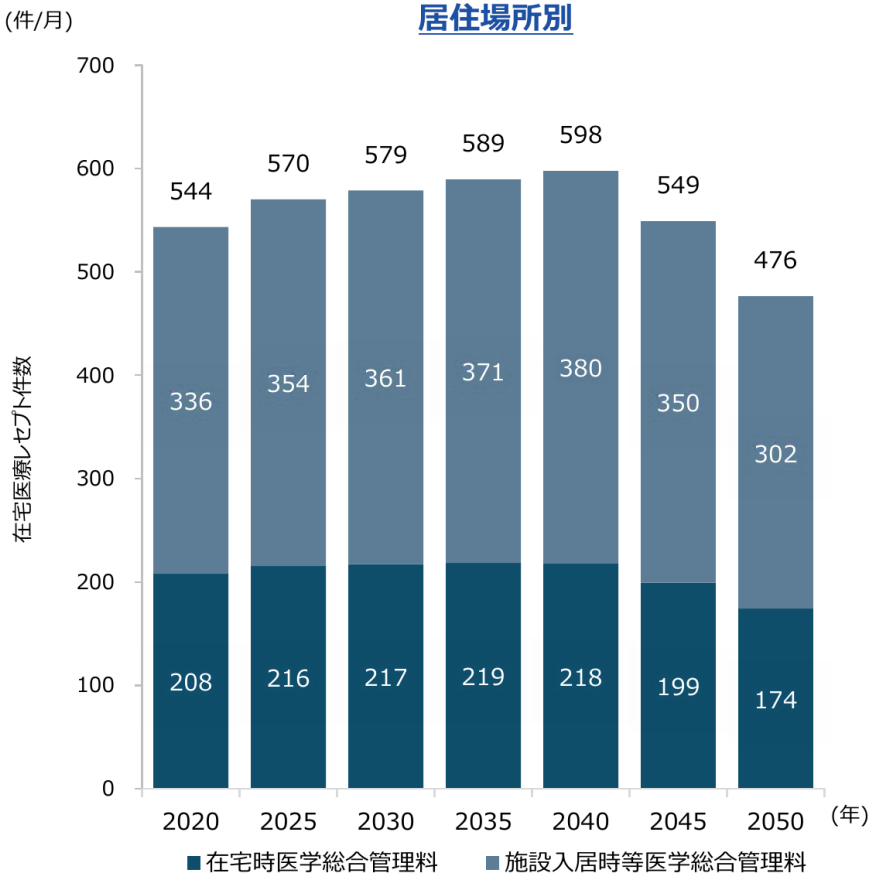
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 萩医療圏｜在宅医療患者数の推計

## 年齢階級別




## 居住場所別



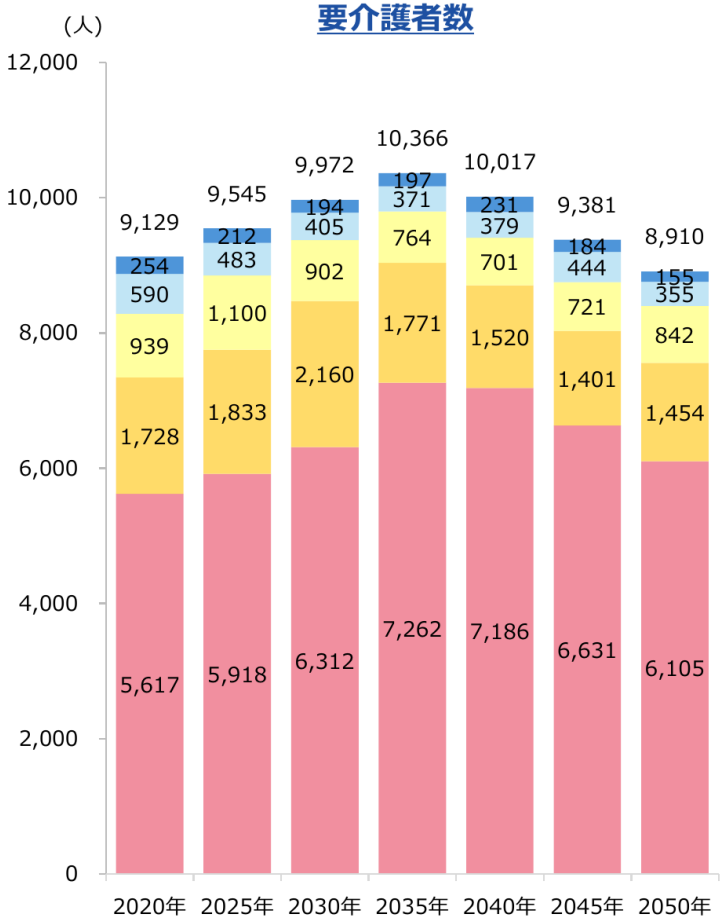

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

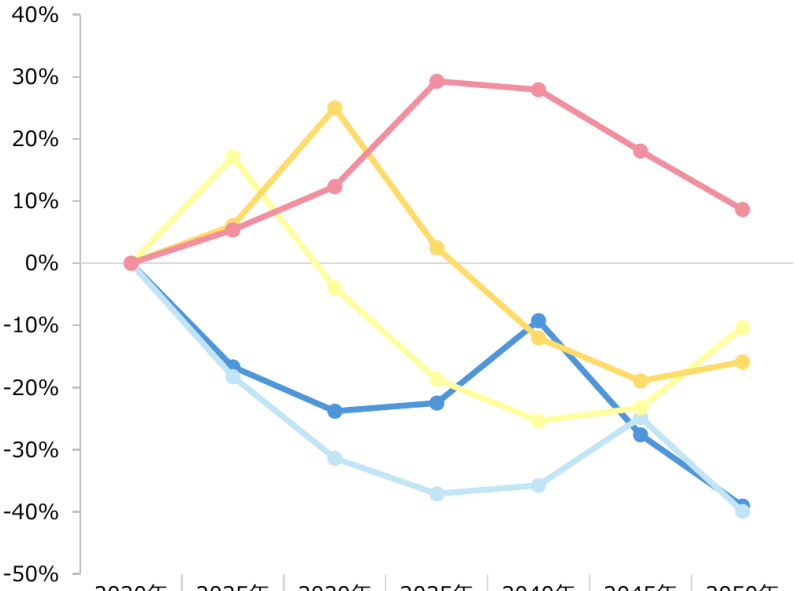
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 岩国医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -16.7% | -23.8% | -22.5% | -9.2% | -27.6% | -39.0% |
| 70～74歳 | 0.0% | -18.2% | -31.4% | -37.1% | -35.7% | -24.8% | -39.9% |
| 75～79歳 | 0.0% | 17.1% | -4.0% | -18.7% | -25.4% | -23.2% | -10.4% |
| 80～84歳 | 0.0% | 6.1% | 25.0% | 2.5% | -12.0% | -18.9% | -15.8% |
| 85歳以上 | 0.0% | 5.4% | 12.4% | 29.3% | 27.9% | 18.1% | 8.7% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

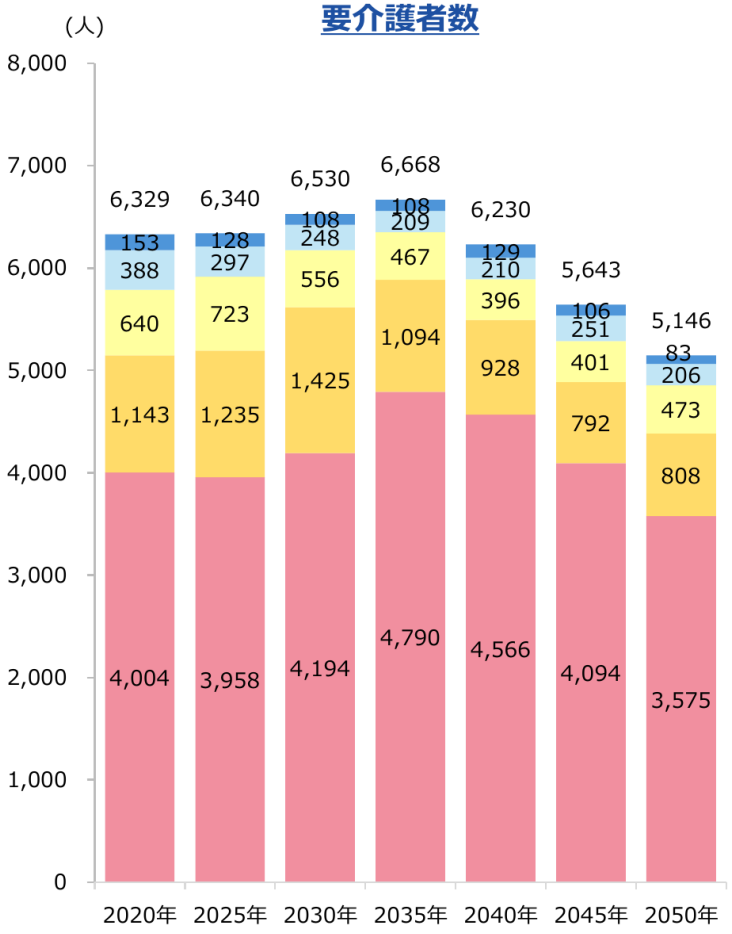
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



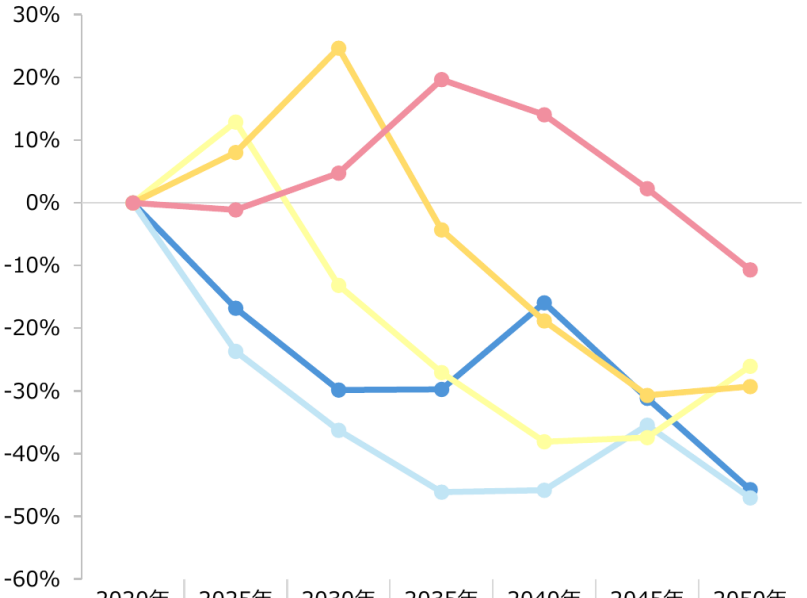
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 柳井医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -16.8% | -29.8% | -29.7% | -16.0% | -31.2% | -45.8% |
| 70～74歳 | 0.0% | -23.7% | -36.3% | -46.1% | -45.8% | -35.5% | -47.0% |
| 75～79歳 | 0.0% | 12.9% | -13.1% | -27.1% | -38.1% | -37.4% | -26.0% |
| 80～84歳 | 0.0% | 8.0% | 24.7% | -4.3% | -18.8% | -30.7% | -29.3% |
| 85歳以上 | 0.0% | -1.1% | 4.7% | 19.6% | 14.0% | 2.2% | -10.7% |

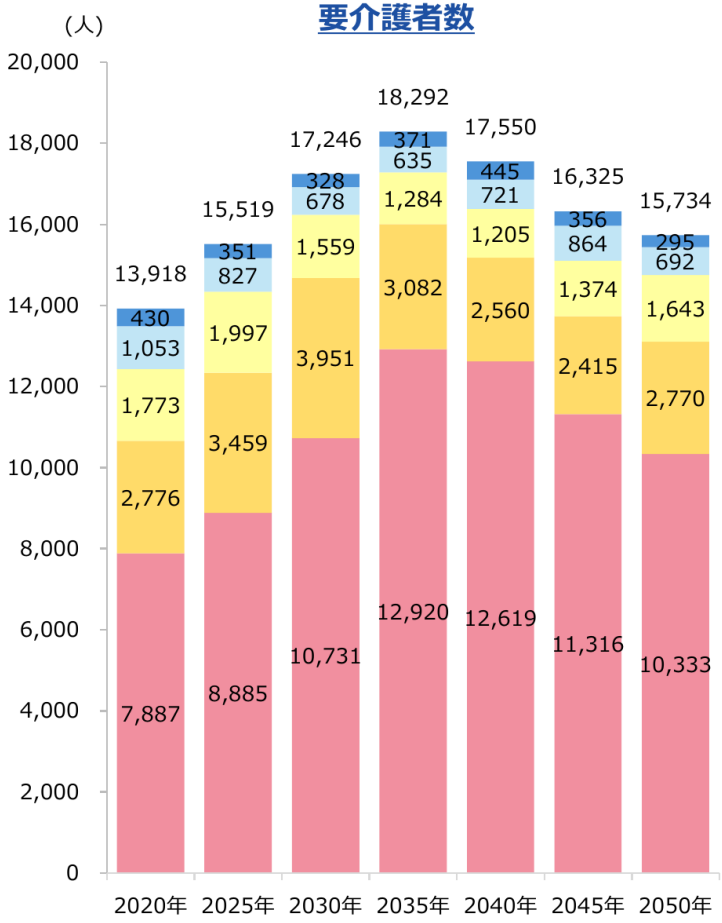
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

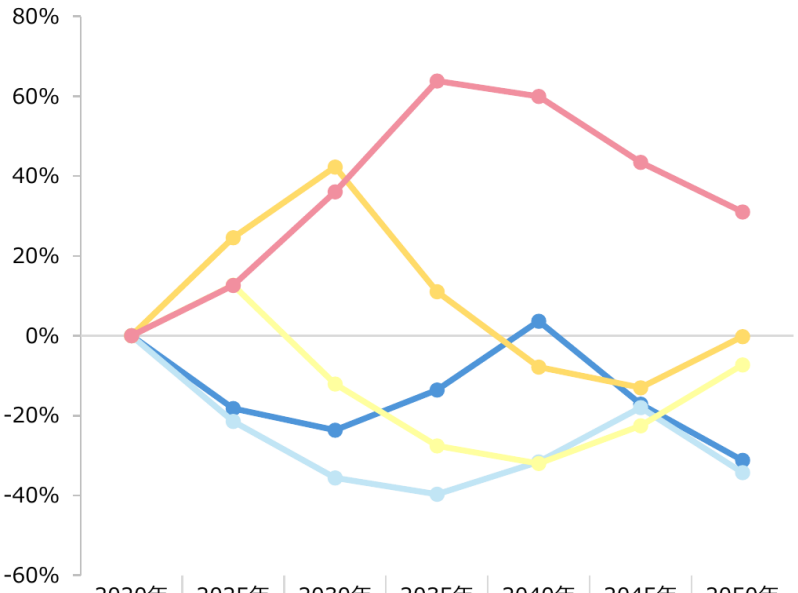
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 周南医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -18.2% | -23.6% | -13.6% | 3.7% | -17.1% | -31.2% |
| 70～74歳 | 0.0% | -21.4% | -35.6% | -39.7% | -31.6% | -18.0% | -34.3% |
| 75～79歳 | 0.0% | 12.7% | -12.1% | -27.6% | -32.0% | -22.5% | -7.3% |
| 80～84歳 | 0.0% | 24.6% | 42.3% | 11.0% | -7.8% | -13.0% | -0.2% |
| 85歳以上 | 0.0% | 12.7% | 36.1% | 63.8% | 60.0% | 43.5% | 31.0% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

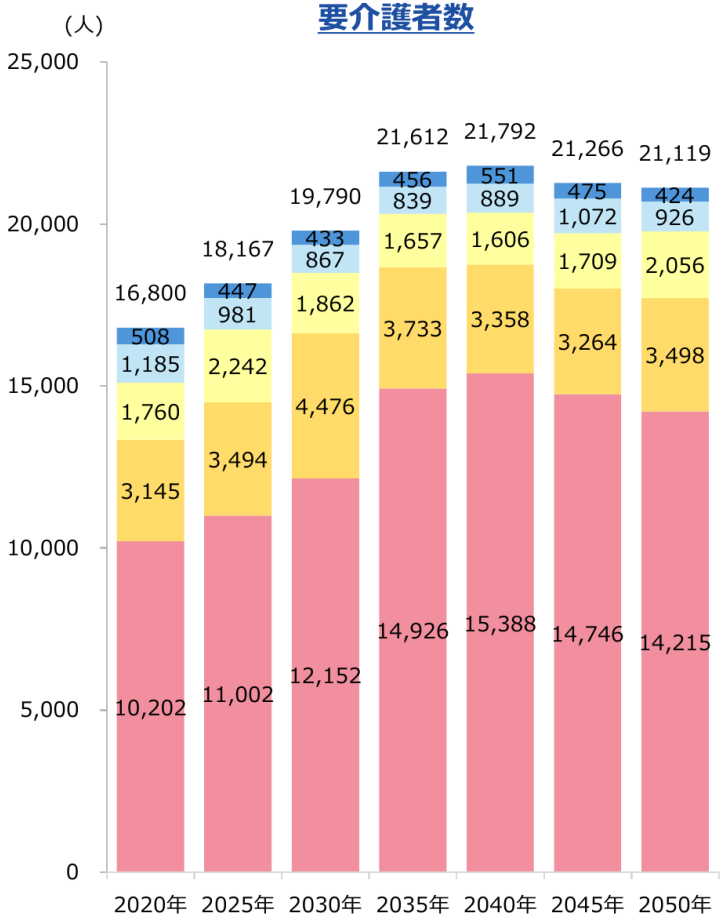
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



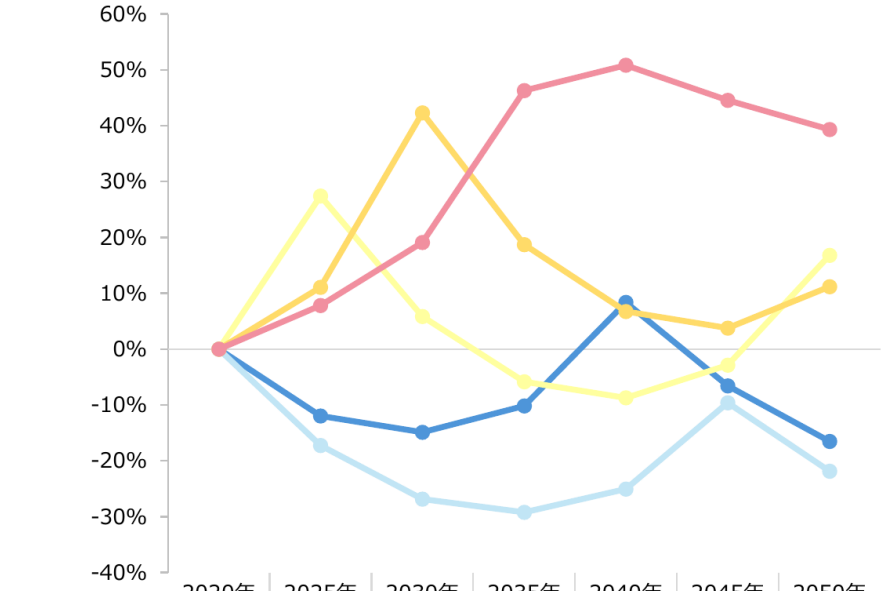
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 山口・防府医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -11.9% | -14.9% | -10.2% | 8.4% | -6.5% | -16.5% |
| 70～74歳 | 0.0% | -17.2% | -26.9% | -29.2% | -25.0% | -9.6% | -21.9% |
| 75～79歳 | 0.0% | 27.4% | 5.8% | -5.8% | -8.7% | -2.9% | 16.8% |
| 80～84歳 | 0.0% | 11.1% | 42.3% | 18.7% | 6.8% | 3.8% | 11.2% |
| 85歳以上 | 0.0% | 7.8% | 19.1% | 46.3% | 50.8% | 44.5% | 39.3% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

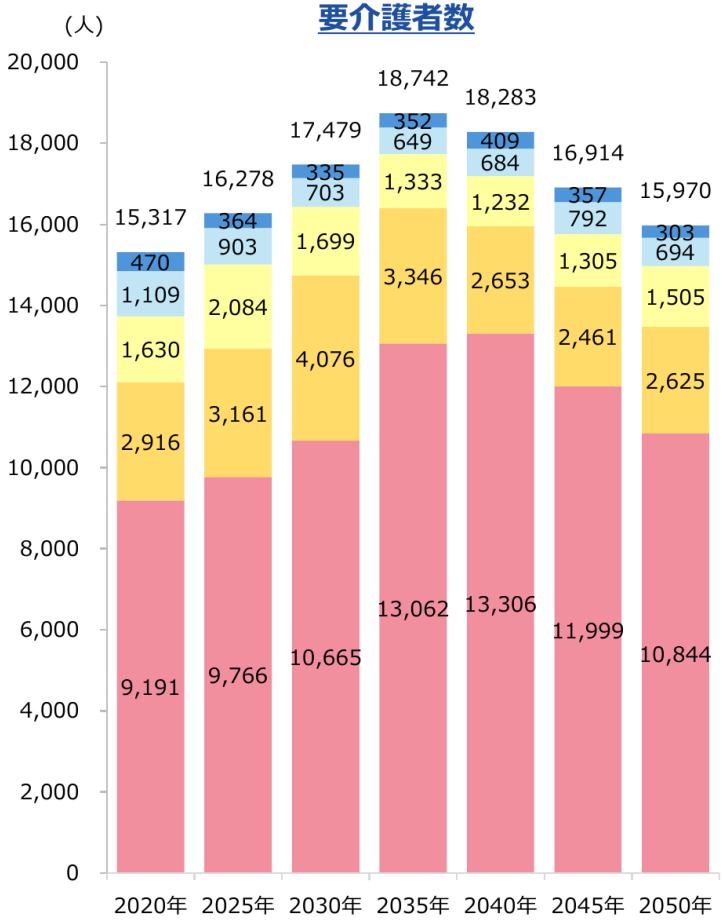
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



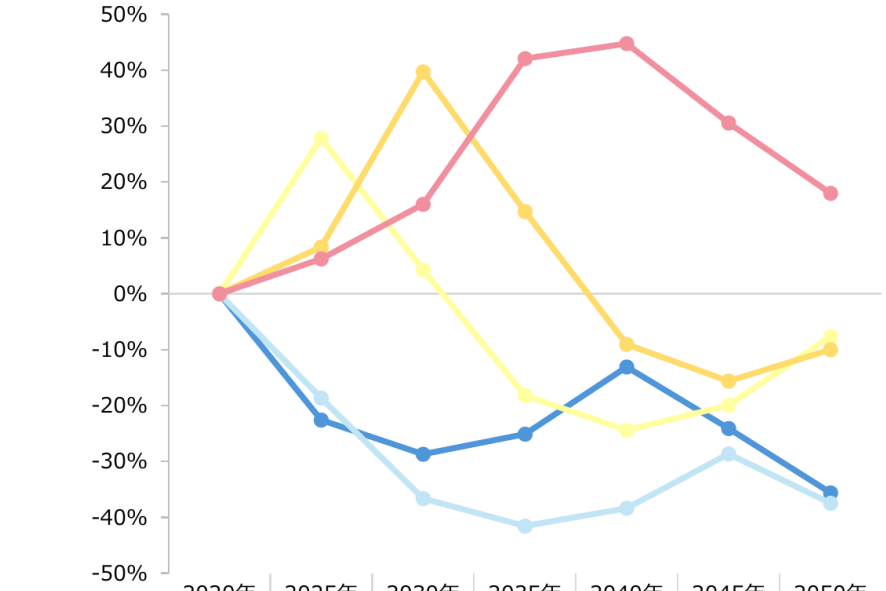
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 宇部・小野田医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -22.6% | -28.7% | -25.1% | -13.1% | -24.1% | -35.6% |
| 70～74歳 | 0.0% | -18.6% | -36.6% | -41.5% | -38.4% | -28.6% | -37.5% |
| 75～79歳 | 0.0% | 27.9% | 4.3% | -18.2% | -24.4% | -19.9% | -7.7% |
| 80～84歳 | 0.0% | 8.4% | 39.8% | 14.7% | -9.0% | -15.6% | -10.0% |
| 85歳以上 | 0.0% | 6.3% | 16.0% | 42.1% | 44.8% | 30.6% | 18.0% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報） 表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

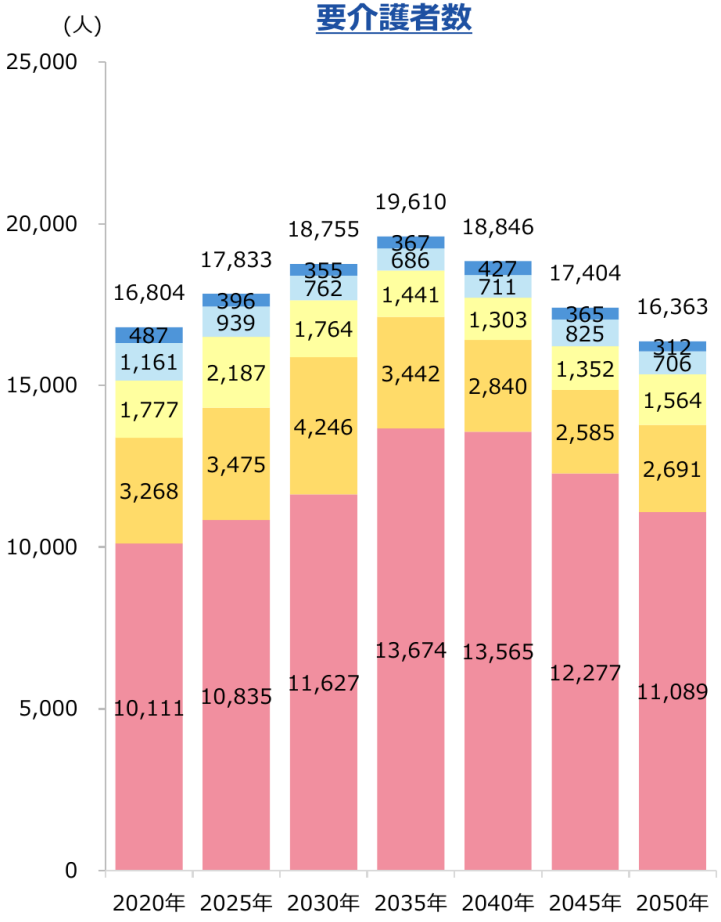
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



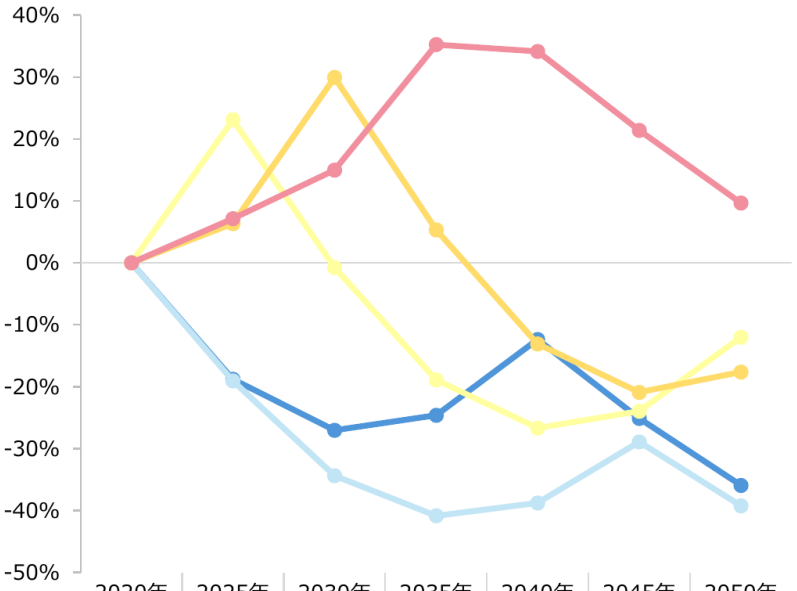
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 下関医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -18.8% | -27.1% | -24.6% | -12.4% | -25.1% | -35.9% |
| 70～74歳 | 0.0% | -19.1% | -34.3% | -40.9% | -38.8% | -28.9% | -39.2% |
| 75～79歳 | 0.0% | 23.1% | -0.7% | -18.9% | -26.7% | -23.9% | -12.0% |
| 80～84歳 | 0.0% | 6.3% | 29.9% | 5.3% | -13.1% | -20.9% | -17.6% |
| 85歳以上 | 0.0% | 7.2% | 15.0% | 35.2% | 34.2% | 21.4% | 9.7% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

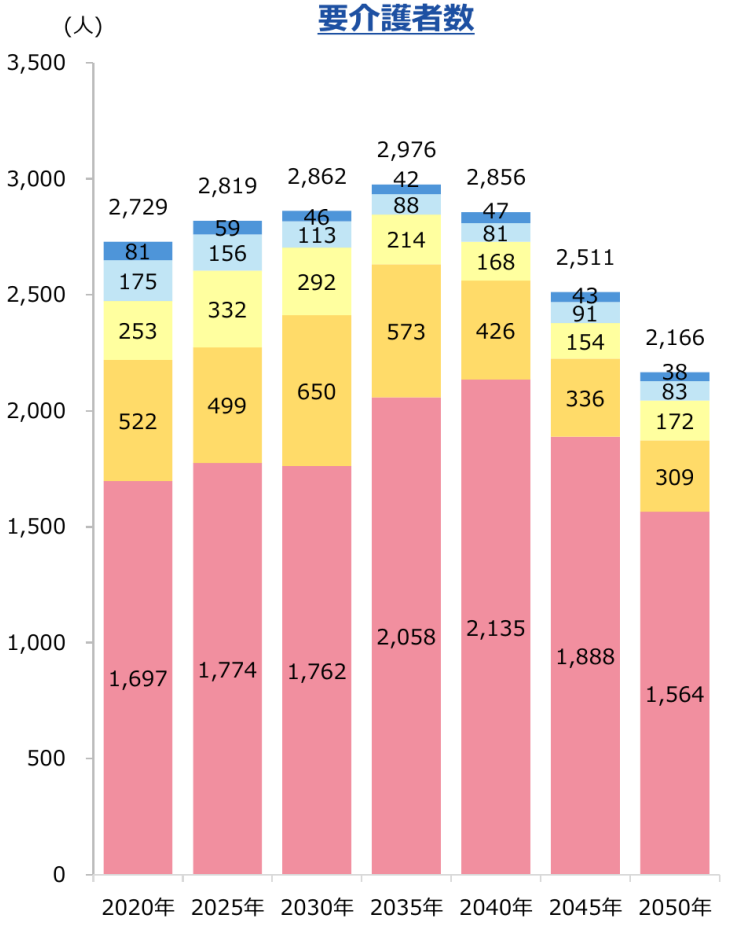
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



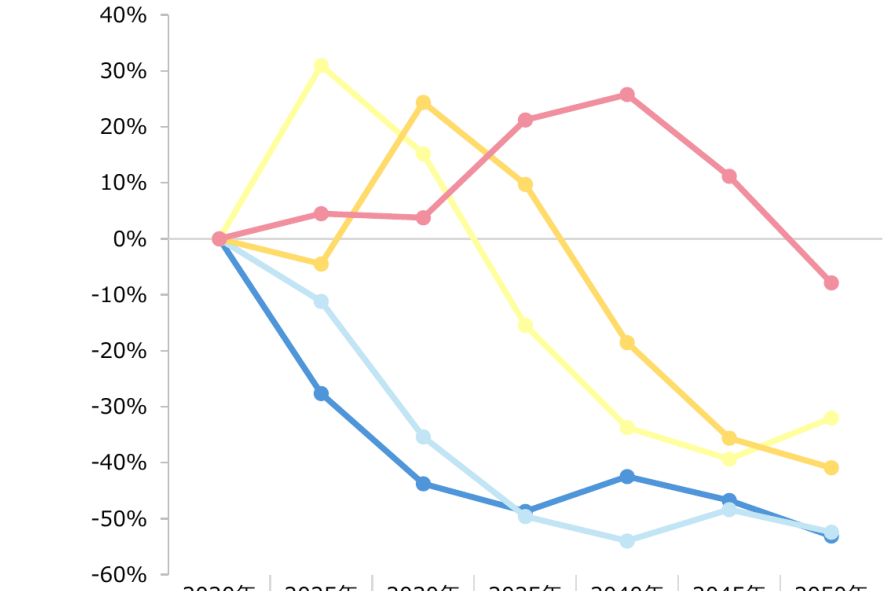
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 長門医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -27.6% | -43.8% | -48.7% | -42.5% | -46.8% | -53.1% |
| 70～74歳 | 0.0% | -11.2% | -35.4% | -49.6% | -54.0% | -48.3% | -52.4% |
| 75～79歳 | 0.0% | 31.0% | 15.2% | -15.4% | -33.7% | -39.3% | -32.0% |
| 80～84歳 | 0.0% | -4.5% | 24.4% | 9.8% | -18.5% | -35.6% | -40.9% |
| 85歳以上 | 0.0% | 4.5% | 3.8% | 21.3% | 25.8% | 11.2% | -7.9% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）　表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口　令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

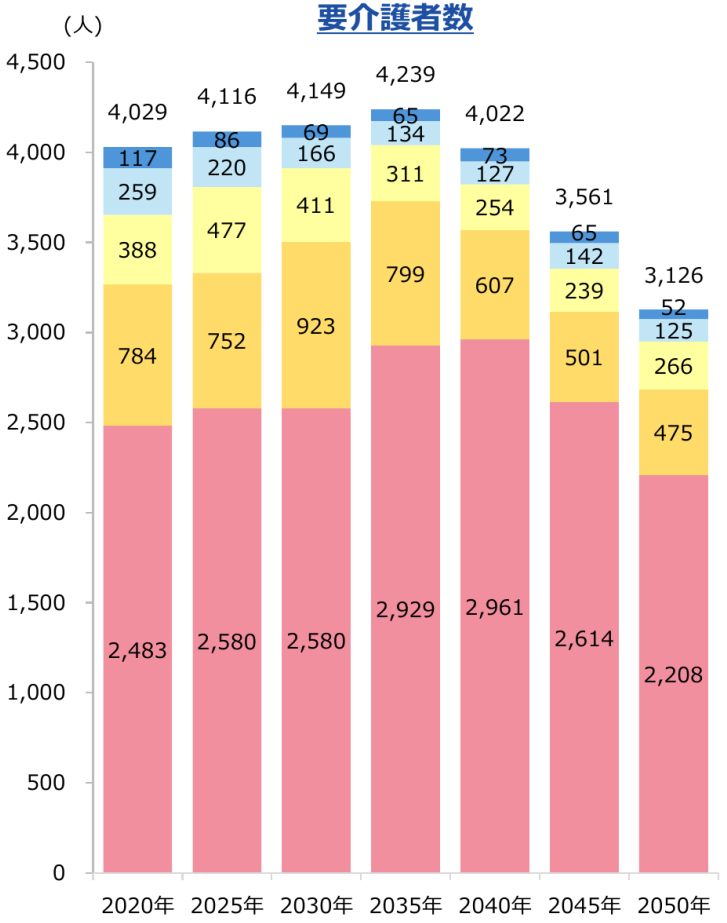
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



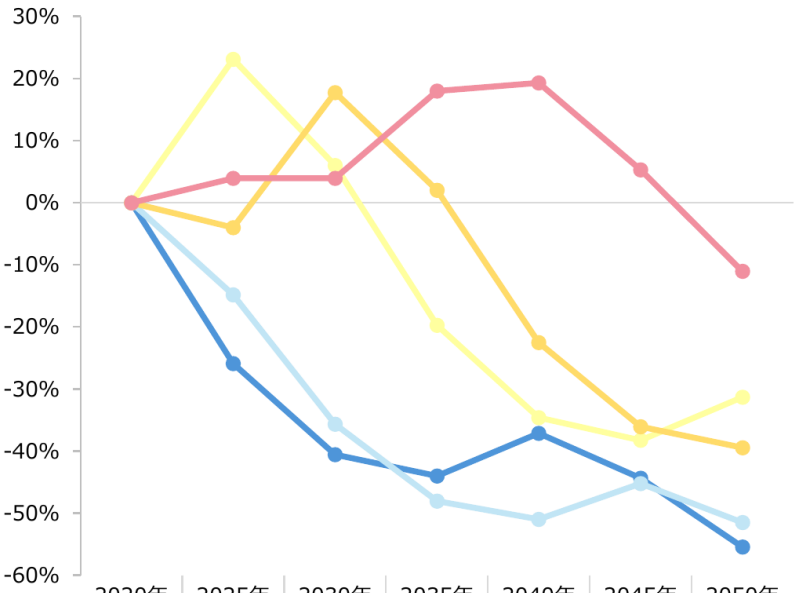
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

# 萩医療圏｜年齢別の要介護者の推計

## 要介護者数




## 増減割合




| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65～69歳 | 0.0% | -25.9% | -40.6% | -44.0% | -37.2% | -44.4% | -55.4% |
| 70～74歳 | 0.0% | -14.8% | -35.7% | -48.1% | -51.0% | -45.2% | -51.5% |
| 75～79歳 | 0.0% | 23.1% | 6.0% | -19.7% | -34.6% | -38.3% | -31.3% |
| 80～84歳 | 0.0% | -4.0% | 17.7% | 2.0% | -22.5% | -36.1% | -39.4% |
| 85歳以上 | 0.0% | 3.9% | 3.9% | 18.0% | 19.3% | 5.3% | -11.1% |

出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報） 表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）